模擬訓練実務研修会

被災宅地危険度判定士養成講習会

公益社団法人 全国宅地擁壁技術協会

危険度判定票を作成してみよう

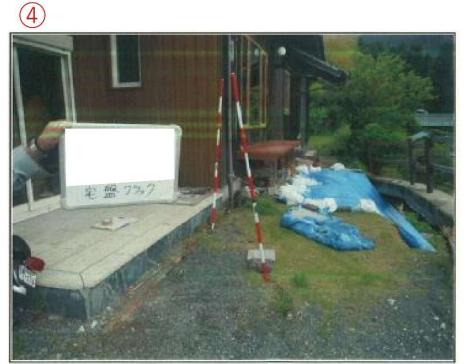
擁壁編









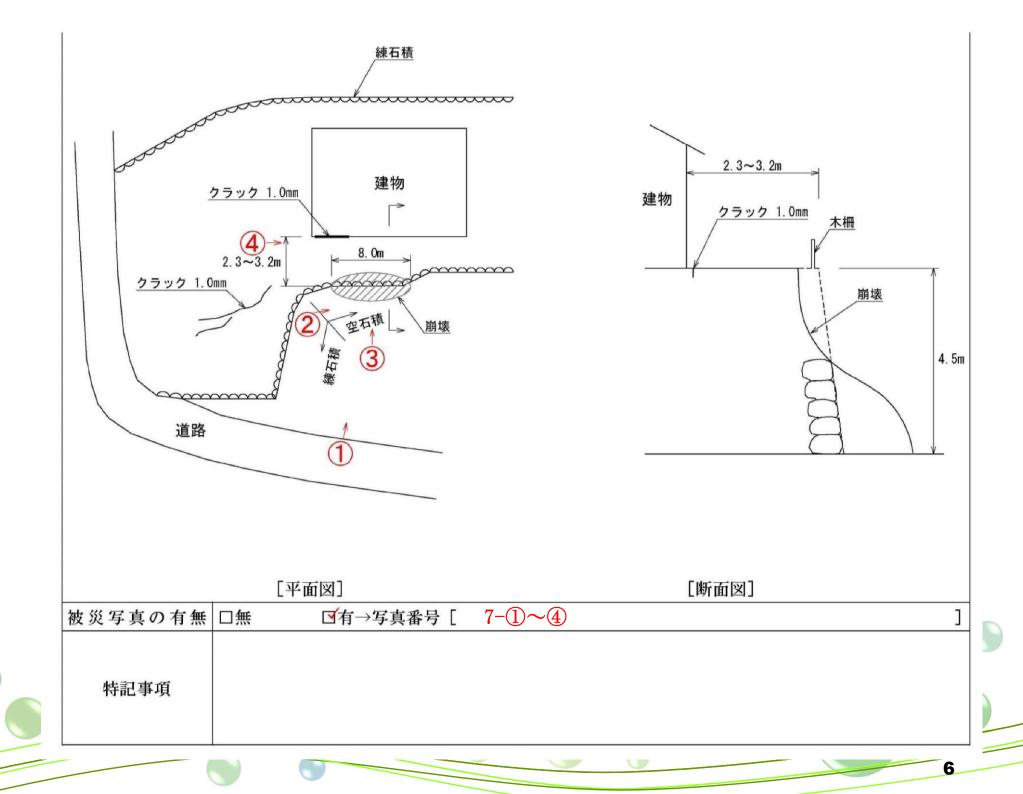


(棣式-	1) 擁	壁被害	状況調査	*危険	世判 定票	11			
∃EI	*	ताः	調査日時	有	F 月	B	時間	問查番号	
調	査	票	地震名又は	降雨災害	名				
被害発生	比坦高		都	道府県		市郡		Į.	区町 村
双日儿	L - 701 171			地区	団地	T	目	番	号
所有者・管理	理者氏名				記入者氏名		TEL:		
所有者·管連 絡		TEL:			居住者への 説 明	□済 □末	・ 了 □居住者 □居住者 □	「在 口老」	人独居住宅
		<被	災状	況		ı		□済 □未	
1.クラック	2.水平	移動 3-1	.不同沈下 3-2	2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾 斜		夏 6.擁壁の折	1000
2/8		-		T	-		Constant of the Constant of th		200
8.張出し床版付擁	壁の支柱の技	損傷 9.基礎	及び基礎地盤の被	害 10.排水	施設の変状		建物・道	道路との位置	関係(基礎点)
				האשר	The state of the s		影響範囲外(8)	影響範囲 (A) 1. OH	影響範囲外(B)
SAMPLE SOUTH SAMPLES			数状況図は省 さり判定結果を			Ĺ		1. 7H	7
		[平面図]				[断面図]	l	
被災写真の	の有無	□無	□有→写	真番号 []
特記事	項								

	П			□L(逆 T)型		重力式								封	積部分){i]
擁				口もたれ式						□増和	[み擁護	Ě			避難部分]
壁		ロコンクリート	系擁壁	口その他							(-) ///				練壁			m	増設	185		m
0	擁壁			口場所打ち	П.	プレキャ	71.							_	:部[4			PERIO	Clina		1
の基	堂	-						h	_	e	Listellitis											Š
礎	の話	□練石積擀	醚	□問地石		コンクリー	ートブロッ	19	-	口二段	77维生			- 1 8	部[]
礎的	種類			□その他[]					_	部高		m	;下音	禍			m
条	754			□玉石積		くずれ	石積			□張出	し床	反付擁	壁		こそのも	也[]
件		口空石積擦	壁	□間地石						擁壁の)設置多	件			3切土	盛土	境 🗆	軟弱地	盤上	□他 [□不明	
				□その他[]	擁壁の	勾配					度	又は	(1	:)
									□影響	輸用に	建物 主	たは道	格がある	5 I E	影響節	囲に建	物またに	は道路が	がない(B) [
	$\overline{}$		乾燥						unity 4	T-Constitution of the Constitution of the Cons	0	4100/44	4,000		11110		0	004				- 1
	0	湧水	湿潤								0.4						0.2			-		- 1
	"	199714	entrereinententen	出し、流出				_			0.8						0.4			-	tirrik I	- 31
基	\vdash			有、天端排水	Mk-Zr ste	Zi dea	73E17E1	tr.t.			0.8			_			0.4			\dashv	基礎点	
-		Lin. I. Lien															0.2			-	1)+2)	+3)
礎	(2)	排水施設		有、天端は表				·			0.4									-	_	- I
	⊢			無、あっても	数・寸流	去か小	適当	-			0.8			-			0.4			-		1 1
点	1		H≦ln								0						0			_		_
		2000		I≦3m							0.2						0.1			4		
	3	高さ		I≦4m	a contractal	0.000119707	overetatii.				0.4					and the same	0.2	and Harrist		_		- 1
			4m <i< td=""><td>I≦5m</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></i<>	I≦5m							0.6						0.3					
			5m <i< td=""><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td> </td></i<>	I							0.8						0.4					
区				程度			月	\					ı							大 大		
分	項	月	\	擁壁種類	コンクリ	練積	增積	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積
	1	クラック			1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7	1	4	5	6	7	8	
	2	水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
変	3	不同沈下・	日地の開	持	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9	/	6	7	8	9	10	
状	4	ハラミ				4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9	/	8	9	10	10	10
形	5	傾斜・倒壊			5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
思	6	擁壁の折損		*	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10	/	8	9	10	10	10	
態と変	7	崩壊				9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
火状	8	張り出し床板	付擦壁の	支柱の損傷		1	1	<u></u>	7	_					9		1	<u></u>			10	
点点	9	基礎及び基											10								10	
Jil.		排水施設の		/IXII			3						- 10	_					19	7		-
		擦壁背面 <i>0</i>		笔破裂	1		- 0	1					10			-						
	- 22	PROPERTY INTO	- A COURT	T) IEX 4C				,					T,									
	-	h= h/4:	2	•																		
	1	クフック(階	()		2 mm未	満のク	ラックは	あるが	、機能	上の	2mm	~20 m	m未満				20 mm	以上				- 1
	1	クラック(幅	Ð					あるが系擁壁の				~20 m リート系	m未満 擁壁の)場合	2mm~	-5 mm	7.0	以上 ツート系	擁壁の	D場合	5 mm以	E)
	1	クフツグ(階	Đ									リート系)場合	2mm∼	-5 mm	7.0		練壁0	D場合	5 mm以	L)
			9		支障な 未満)。	こし(コン	クリート	系擁壁	の場合		(コンク 未満	リート系)	擁壁の				(コンク	リート系				<u>F</u>)
	2	クフック(幅 水平移動 申縮目地前後の	2013 10		支障な 未満)。	こし(コン	クリート		の場合		(コンク 未満	リート系)					(コンク					L)
変	2 (俳	水平移動	のずれ)	Hè.	支障な 未満)。 5 mm未	流し(コン満の隙	·クリート: 3間(変(系擁壁	の場合	2 mm	(コンク 未満 5 mm・	リート系) 〜50 mm	擁壁の)隙間(変位)か	ある	(コンク 50 mm	リート系)隙間(変位)カ	ぶるる	
変状	2 (伸 3	水平移動 申縮目地前後の 不同沈下・	のずれ) 目地の開		支障な 未満)。 5 mm未	はしつン 満の際 に満の[クリート: 課間(変化 目地上	系擁壁	の場合	2 mm	(コンク 未満 5 mm・	リート系) 〜50 mm 〜50 m	排壁の 未満の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の間(の)	変位)が	ある	(コンク 50 mm	リート系 1以上の 11以上の)隙間(変位)か	ぶある のずれ	収は
0	2 (伸 3	水平移動 中縮目地前後6	のずれ) 目地の開		支障な 未満)。 5 mm未	はしつン 満の際 た満の[クリート: 課間(変化 目地上	系擁壁	の場合	2 mm	(コンク 未満 5 mm・	リート系) 〜50 mm 〜50 m	練壁の未満の	の間(の)	変位)が	ある	(コング 50 mm 50 mm 目地	リート系	の目地であり	変位)か	ぶある のずれ	収は
の程	2 (伸 3 (目	水平移動 申縮目地前後の 不同沈下・	のずれ) 目地の開		支障な 未満。 5 mm未 5 mm未	流の際 満の際 がある	グリート: 間(変化 目地上 る。	系擁壁	の場合	∶目地	(コンク 未満 5 mm・ 5 mm れ又	リート系) ~50 mm ~50 m ~50 m	操壁の 未満の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の目地	変位)が の上下 る。	ある	(コン/ 50 mm 50 mm 目地 それ	リート系 以上の 即以上の の開き	D隙間(の目地 があり	変位)かの上下	がある のずれ か、転倒	収は
0	2 (付 3 (日	水平移動 申縮目地前後の 不同沈下・ 引地上下・左右	のずれ) 目地の開き)	支障な 未満。 5 mm未 5 mm未 の開き	流の際 満の際 がある	クリート は間(変化 日地上 る。 ラミ及	系擁壁(立)があ	の場合	∶目地	(コンク 未満 5 mm れ又 宅地	リート系) ~50 mm ~50 m は目地 地盤に	排壁の 未満の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の目地をがある	変位)が の上下 る。	ある	(コング 50 mm 目地 それ 宅地	リート系 以上の m以上の の開き が有る	の目地の があり こテンショ	変位)か の上下)、滑動 nンクラッ	がある のずれ	収は
の程度	2 (俳 3 (日 4 (テ	水平移動 申縮目地前後の 不同沈下・ 日地上下・左右 ハラミ	のずれ) 目地の開 古の開き ・ずれ・)	支障な 未満。 5 mm未 5 mm未 の開き 小規格 ~2個	満の際 に満の際 がある。 もがある。	/リート: 関間(変 目地上 る。 ラミ及(すちる)	系擁壁(立)があ	の場合 っる。 れ又は け(積石	· 2 mm :目地 iが 1	(コング 未満 5 mm 5 mm れ又 宅地 円弧	リート系) ~50 mm ~50 m は目地 地盤に すべり	森壁の 未満の 加未満の 別さ	の目地をがある ンクタッ	変位が の上下 る。 ク無し	ある	(コン/) 50 mm 50 mm 目地 それ 宅地 円弧	リート系 山以上の の開き が有る 地盤に	の目地(があり テンシ: のおそ	変位)か の上下 り、滑動 いクラッ これ有	ぶある のずれ か、転倒	収は
の程度大	2 (俳 3 (日 4 (テ	水平移動 解目地前後の 不同沈下・ 日地上下・左右 ハラミ ンションクラック	のずれ) 目地の開 古の開き ・ずれ・)	支障な 未満。 5 mm未 5 mm未 の開き 小規模 ~ 2 個 擁壁か	はしコン 満の際 に満のト きがある 抜け落 があれる	クリート: 関間(変 目地上 る。 ラミ及(すちる) 地盤に	系擁壁のがあ	の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の	· 2 mm :日地 iが 1	(コング 未満 5 mm 5 nm れ 2 宅地 発 壁	リート系) ~50 mm ~50 m は目地 地盤にり が前面	排壁の 未満の m未満の の開き テンショ のおそ	の目地をがある。シクタッとれ無しこ対し	変位がの上下る。	あるのず	50 mm 50 mm 目地 それ 宅地 円 強壁	リート系 以上の の別き が有る 地盤に すべり	の目地(かあり) (テンショ のおそ	変位)か の上下 り、滑動 いクラッ これ有	ぶある のずれ か、転倒	収は
の程度 大・	2 (付 3 (日 4 (テ 5	水平移動 中緒目地前後は 不同沈下・ 日地上下・左右 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊	のずれ) 目地の開 たの開き ・ずれ・)	支障な 未満。。 5 mm未 5 mm未 5 mm り か現機 を 2 が り の傾く が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	はしつン 満の際 法がある 技が前が 大学が がより 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が	クリート: 関間(変) 目地上 ラミ及(すちる) 世盤の場	系擁壁 立があ 下のずご び中抜い 対し垂端 対し手端	の場合 れ又は け(積イ 直以下	· 2 mm :目地 : iが 1 : 。 (コ : 未満	(コング 5 mm 又 を円 を 1 mm 又 を 1 を 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の	リート系 〜50 mm 〜50 mm 〜50 mm 〜は目地 地ずが前 が可 の傾斜	抹壁の 未満の にテンショ のおそ 「地盤し 排壁の	の間はいかあることなった。これ無しこ対し	変位がの上下る。 ク無し 垂直以 手 乗 乗 端	ある のず 上。 50 mm	(コン/) 50 mm 目 を 宅 円 擁 失	リート系 以上の の が有る に り が が が が が が が の が り の の が り の り の り り り り	の目地(があり)。 デンショ のおそ (す・例は もの。	変位)かの上下の上下のようからいたれた。	がある のずれ か、転像 か有り り	い又は別のお
の程度大	2 (付 3 (日 4 (テ 5	水平移動 中緒目地前後。 不同沈下・ 力地上下・左っ ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 嫌壁の折損	のずれ) 目地の開 右の開き ・ずれ・	・) 中抜け)	支障な 未満。。 5 mm未 5 mm未 5 mm り か現機 を 2 が り の傾く が り り り り り り り り り り り り り り り り り り	はしつン 満の際 法がある 技が前が 大学が がより 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が	クリート: 関間(変) 目地上 ラミ及(すちる) 世盤の場	系擁壁 立があ 下のず び中抜い 対し垂	の場合 れ又は け(積イ 直以下	· 2 mm :目地 : iが 1 : 。 (コ : 未満	(コン/ 5 mm 5 n 平 5 n 平 宅円 雑 立	リート系 ~50 mm ~50 mm ~50 mm ~650 mm ~	抹壁の 未満の 無未満の に に に に に に に に に に に に に	の目地をがある シクタッ ・れ無し こ対し こ対し	変位)がの上下る。	ある のず 上。 50 mm	(コン/) 50 mm 50 mm 目 を も も と も り 発 生 の し り の り り り り り り り り り り り り り り り り	リート系 以上のが地すがて して して	の目地の かあり	変位がの上下の上下のよう。 いたからいたれ有いまして	がある のずれか、転作 かク有り り その機	レ又は別のお 能能を
の程度 大・中・	2 (俳 3 (日 4 (テ 5	水平移動 中緒目地前後 不同沈下・ 打地上下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 排壁の折損 ・ななめひ	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれか) 中抜け) aら起きるも	支障な 未満。 5 mm未 5 mm り の開規を個 かり の何を かり の り り り り り り り り り り り り り り り り り	はしつい 満の際 表がある。 技があれる 技が直接 ト系操 りを境に	クリート 開間(変 同地上 る。 ラミ及ら) も整に場 こわずが	系権壁 立があ 下のず び中抜い 対し垂動 かに角り	の場合 ある。 れ又は け(積イ 直以下 鹿安をな	1 日地 「が 1 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(コン/満元 5 mm V	リート系 ~50 mm ~50 mm ~60 地すがリのクり、 かり面系約境も	未満の 無未満の に に に に に に に に に に に に に	の目地をがある シクタッ こ対し こ対し いあり、	変位)がの上下の上でである。 ク無し 重正端 再変込	ある のず 上。 50 mm なし めコン	(コン/) 50 mm 50 m地 七 七 円 雑 失 ー クリー	リート系 以上のが地すがて し系維 して 雑	の目地のがあり、 デンシェのおそ 頂・倒り である。	変位かの上下り、滑動いクラッとれ有要して	がある のずれか、転倒 かっク有り り その様	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小	2 (俳 3 (日 4 (テ 5	水平移動 申縮目地前後の不同沈下・ 日地上下・左の ハラミンションクラック 傾斜・倒壊 嫌壁の折損ひでした。 はらんでした。	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれか	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障な 未満。。 5 mm末 5 mm末 5 mm末 6 mm末 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	にしい 満の間 大満があい 対が前系が があれる 大きが があれる 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが	クリート: 対間(変化 目地上 3。 ラミなる) 地壁の 解壁の	系権壁 立があ 下のず び中抜い 対し垂対 かに角」 場合ケ	の場合 っる。 れ又は け(積イ 直以下 直をな ラックを	1 日地 「が 1 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(コン/満元 5 れ 宅円擁(コ以) ク て / リー / フ / フ / フ / フ / フ / フ / フ / フ / フ /	リート 50 mm にり 面系 終境 抜け にり 面系 終境 抜け たり 面系 終境 抜け たり 面系 終境 抜け たり 面系 終境 抜け たり しょく かいしょく かいり かいしょく かいり かいしょく かいしん しん し	操壁の 未満の 一末満の 一末満の 一下ンショ 「地盤を のおを に ける に して し に し に し に し に し に し に し に し に し	の目地をかられ無し いクタットに対合 いあり、いるり、コンクリー	変位がの上下 の上下 の上 直端 を込ん を を を を を を を を を を を を と か と で を を を と か と で と か と で と か と で と か と で と か と か	ある のず 上。 50 mm なし めコン 壁の	(コン/) 50 mm 11	リート系 以上のが地すがて し系いる 大雑る	の目地があり。 ニテンションのおそれである。 はもの。こである場とである。	変位かの上下り、滑動シクラッシュれ有要して	ぶある のずれを かい 有り り その 場 の ぱ り でも も の ぱ り	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小の	2 (俳 3 (日 4 (テ 5	水平移動 中緒目地前後 不同沈下・ 打地上下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 排壁の折損 ・ななめひ	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれか	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障な 未満。。 5 mm末 5 mm末 5 mm末 6 mm末 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 mm2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	にしい 満の間 大満があい 対が前系が があれる 大きが があれる 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが 大きが	クリート: 対間(変化 目地上 3。 ラミなる) 地壁の 解壁の	系権壁 立があ 下のず び中抜い 対し垂動 かに角り	の場合 っる。 れ又は け(積イ 直以下 直をな ラックを	1 日地 「が 1 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(コン/満 5 和	リート 50 mm	未満の 無未満の に に に に に に に に に に に に に	の目地をかられ無し いクタットに対合 いあり、いるり、コンクリー	変位がの上下 の上下 の上 直端 を込ん を を を を を を を を を を を を と か と で を を を と か と で と か と で と か と で と か と で と か と か	ある のず 上。 50 mm なし めコン 壁の	(コン/) 50 mm 11	リート系 以上のが地すがて し系維 して 雑	の目地があり。 ニテンションのおそれである。 はもの。こである場とである。	変位かの上下り、滑動シクラッシュれ有要して	ぶある のずれを かい 有り り その 場 の ぱ り でも も の ぱ り	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小の概	2 (伸 3 (目 4 (テ 5	水平移動 輸出地前後 不同沈下・左っ いラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 擁壁の折損 っこ。 はららんでも ったなかめひ ったななめひ った。 はらたく を ったく ここ。	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれか	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障為。 5 mm末 5 mm末 5 mm末 5 mm末 5 mm末 6 の規 が、一定 が、上で が、の傾か かいので がいことが がい がいことが がいことが がいことが がいことが がいことが がいことが がいことが がいことが がいことが がいとが がしが がいとが がしが がしが がいとが がいとが がいとが がしが がしが が	はしつい 満の際 流があった。 造抜前所雑 り ト系前 り ト系前	クリート 間間(変 目 地上 ラミなる) とも整 とわずが 解壁で	系権壁の 立かあ 下のず。 が中抜い 対し垂端 かに角り いる。)	の場合 る。 れ又は け(積7 直以下 声をな ラックを	1 日地 「が 1 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(コ 未 5	リート系 - 50 回 地すがリのクりがラット - 50 回 地 にり面系糸境抜!ラク	操壁の 未満の 開き デンシミ 万地盤を し にけ石か える。(に に た る り に た る り の に た り し る り し る り し る ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	の目地をかある。 かり、これ無しこ対合 のかにいるかい。 があり、こからい。 ではあり、こ前方に	変位)がの上下の上でである。 クルー・ のままで りょう のまま の という の という の まま の まま が で の まま が で の という かい	ある のず 上。 50 mm なし めコン 壁の	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リート系 以上のが地すがて し系いり はいかん 大郷る後	の関制(の目地の)。 デンシミのお付い。 である。 での場合の。	変位)かの上下のシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッ	がある のずれ作 かり その 場 の り でも り で しゅう で しゅう で も の ぱ り で しゅう で も り で しゅう で しゅう で しゅう こ ・	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小の概	2 (俳 3 (目 4 (テ 5	水平移動 中部目地前後 不同沈下・ 1地上下・左・ ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 練壁の折損 境・ななめひ 。はらんでい 売っ 売っ があった。 がある。 がなる。 がある。 がある。 がる。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がる。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がる。 、 がる。	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ びわれか いるが曲 角に折れ	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、 いている)	支障為。 5 mm未 5 mm制 4 個 かり傾分 クラッス。 のコンザカ 中間以	はしつい 満の際 法がある。 法が前所解析 があり、 では前所解析 はいる。 にはいる。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい	クリート。 関間(変) 目地上 う。 ラミなる) 地盤の場 こわずが 解重してい る。上が	系権壁のがあ 下のずご 対し、氏対 かに角」がある。)	の場合 る。 れ又は け(積イ 直以下 度をな ラックを) いる。	1 日地 「が 1 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コンパ 表面で 5 れ 宅円擁コ以クて別場い基地が上が出合る礎	リー〜5 つは 地すがリークリート 1 つ 1 つ 1 しまがリークリー・ 1 つ 1 世 にり前子に 1 り 1 か 1 つ 1 か 1 つ 1 か 1 つ 1 つ 1 つ 1 つ 1 つ	操壁の 未満の 一末満の 一末満れの 一京の 一京が にはなる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。 になる。 にな。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 に。	の間間の の目地をかからいたとことがありいる。 かいありからいいのでは、 かいかりいったり、 かいかりかったり、 かいかり、 かいかり、 でいる。	変位)がの上下の上でである。 クル・重に、 の生に、 の生に、 のも、 の上では、 のも、 の上では、 のと、 の上では、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと、 のと	ある のず 上。 50 mm なし めコン 壁の して	50 回 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	リート系 以上のが地すがて し系にり 上のが地すがて し系いり 果のが地すが て 大郷る後 た	の関制(の目地が、ここのおそりである。ここのおそりである。ここのおそりである。ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは	変位)かの上下のシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッ	がある のずれ作 かり その 場 の り でも り で しゅう で しゅう で も の ぱ り で しゅう で も り で しゅう で しゅう で しゅう こ ・	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小の	2 (俳 3 (日 4 (テ 5 6 (様のクラ 7 8	水平移動 中縮目地前後で 不同沈下・ たっ ハラミ ンションクラック ・ 傾斜・ 例線 ・ 雑壁の折損の ・ なおめい ・ はらんで ・ がり、 はらんで ・ がり、	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ びわれか いるが曲 角に折れ	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障為。 5 mm未 5 mm制 4 個 かり傾分 クラッス。 のコンザカ 中間以	はしつい 満の際 法がある。 法が前所解析 があり、 では前所解析 はいる。 にはいる。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい	クリート。 関間(変) 目地上 う。 ラミなる) 地盤の場 こわずが 解重してい る。上が	系権壁の 立があ 下のず。 が中抜い 対し垂端 かに角り いる。)	の場合 る。 れ又は け(積イ 直以下 度をな ラックを) いる。	1 日地 「が 1 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(コン/満 5 mm - 5 n 又 宅 円 練 に ン ク て か 男 ら る 礎 柱 文 た 主 主 社 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リート系 	接壁のの 未満のの にから にから にはたるを にして にして にして にして にして にして にして にして	の間間の の目地をかからいたとことがありいる。 かいありがいる。 かいありがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいからいる。 かいからいる。 かいからいる。 かいからいる。 かいがったい。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっとい。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいで。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっ。 かいがっと。 かい。 かい。 かっと。 かい。 もっと。 かい。 もっと。 かっと。 かっと。 もっと。 かっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 も	変位がの上下の上でである。 クル・重天 度裏系領 トラス でんしょう かんしょう かんしょう かんり かんしょう かんしょ かんしょう かんしょ かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	ある のず 上。 50 mm なし めコン 壁の して	50 回 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	リート系 以上のが地すがて し系いり はいかん 大郷る後	の関制(の目地が、ここのおそりである。ここのおそりである。ここのおそりである。ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは	変位)かの上下のシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッ	がある のずれ作 かり その 場 の り でも り で しゅう で しゅう で も の ぱ り で しゅう で も り で しゅう で しゅう で しゅう こ ・	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小の概要説	2 (俳 3 (日 4 (テ 5 7 8 傷	水平移動 中輸目地前後・ 不同沈下・ たっ ハラミンションクラック 頼料・倒壊 糠壁の折損が よらんでい 売ラクを境に鈍 撮壊 張り出し床	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれかいるが由い 海に折れ 板付擁埋	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支障湖。 5 mm末 5 の開 規 個	にしになる。 にはの に満の に満の に満かある。 では、 ながまがある。 はな前よ解した。 はな前な解した。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	クリート: 別間(変) 目地上 る。 ラミ及) かきをも盤に は難量の に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し	系権壁 があず。 で中抜い がかず。 が中抜い を一体に を一体に を一体に をしまず。 でいる。	の場合。 る。 れ又は け(積 で 直 当 50 mm 度 を を う う い う い う 。 う い う 。 う り う い う 、 り り り 、 り り い 。 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 。 り 。 い 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	日地において、日本にしては、	(コン/満 5 mm - 5 n 又 宅 円 練 に ン ク て か 男 ら る 礎 柱 文 た 主 主 社 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リー〜5 つは 地すがリークリート 1 つ 1 つ 1 しまがリークリー・ 1 つ 1 世 にり前子に 1 り 1 か 1 つ 1 か 1 つ 1 か 1 つ 1 つ 1 つ 1 つ 1 つ	接壁のの 未満のの にから にから にはたるを にして にして にして にして にして にして にして にして	の間間の の目地をかからいたとことがありいる。 かいありがいる。 かいありがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいかりがいる。 かいからいる。 かいからいる。 かいからいる。 かいからいる。 かいがったい。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっとい。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいがっといる。 かいで。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっと。 かいがっ。 かいがっと。 かい。 かい。 かっと。 かい。 もっと。 かい。 もっと。 かっと。 かっと。 もっと。 かっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 も	変位がの上下の上でである。 クル・重天 度裏系領 トラス でんしょう かんしょう かんしょう かんり かんしょう かんしょ かんしょう かんしょ かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	ある のず 上。 50 mm なし めコン 壁の して	50 回 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	リート系 以上のが地すがて し系にり 上のが地すがて し系いり 果のが地すが て 大郷る後 た	の関制(の目地が、ここのおそりである。ここのおそりである。ここのおそりである。ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは、ここのは	変位)かの上下のシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッシャクラッ	がある のずれ作 かり その 場 の り でも り で しゅう で しゅう で も の ぱ り で しゅう で も り で しゅう で しゅう で しゅう こ ・	ル又は 別のお 機能を 。(コン 経に前
の程度 大・中・小の概要説	2 (仲 3 (日 4 (テ 5 7 8 傷 9	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 権。ななめひで はらんでい が 原理 が が の が の が の が に が の が に が い に い ら い に い ら い に ら い ら い ら に ら が ら い ら り に ら が 。 の り の り の り の り の り に り に り 。 、 り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ びわれかいるがあれがいるがいるがいるが、 板付練器	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支障湖。 5 mm末 5 の開 規格個本権 10 の 10	にし口ン 満の際に満かある。 流がある。 はな前外が 地域が がは、 系がある。 はな前外が 地域が がは、 のい。 では、 のい。 では、 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。	クリート: 別間(変) 目地上 る。 ラミ及) かきち 盤 とい 解類 しいがっ こうこう アトマクラ	系操壁 があず かか が 対 かか が 対 か が 対 か が が が が が が が が が	の場合 る。 れ又は は(種な 直当50 mm 変をなる ラックを いる。	- 2 mm 目地	(コ大満 mm mm x を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 2 を 2 を 2	リ) ~ 50 世 地すがリのクりがクラ。部のて ・ 10 世 にり 10 乗 を ・ 見ッ) を コント で 10 世 にり 10 乗 を ・ 見ッ) を コント る	探望の 未満の 無未満別 ニテンショ テンショ での お経壁の 明日 にけてる の に に に に に に に に に に に に に	の関制(の) 同地の かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	変位がの上下 クル・重に 角裏・不傾に る。 外に 直端 を込 がく ないれて いれて いれて いれて いんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょく かんしょく かんしょ かんしょう かんしょく かんしょ かんしん かんしん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしん かんしん	よある 上。 かかか はカンの で がが がが	ロン// 50 mm	リート系 の いか 地すがて し 下であ をの とり	り関地が、 ・デのシットのでは、 ・で整の大きな場合でである場合でしている。 ・「している。」というでは、 ・「していない。」というでは、 ・「いるない。 ・「いるない。 ・「い。 ・「いるない。 ・「いるない。 ・「いるない。 ・「い。 ・「い。 ・「い。 ・「い。 ・「、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	変位がの上下滑手のような有がある。 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説	2 (仲 3 (日 4 (テ 5 7 8 傷 9	水平移動 中輸目地前後・ 不同沈下・ たっ ハラミンションクラック 頼料・倒壊 糠壁の折損が よらんでい 売ラクを境に鈍 撮壊 張り出し床	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ びわれかいるがあれがいるがいるがいるが、 板付練器	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支険満。末 末きの 小 2 個	にしい 版書が 成を 成本が の の の の の の の の の	クリート: (変) 目も。 及る) に場 がっている といい かいっと かいっと かいっと アンドン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	系操壁 があ ず か 対 か が 対 か が 対 か が 対 か が が が が が が が が	の場合 る。 れ又は (積低 はでは である。 はでは である。 にでる。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にでる。 にである。 にでる。 にでる。 にである。 にでる。 に。	· 2 mm :目地 :	(1) 1	リ) ~ 50 目 盤 が リ の ク り か ク う) 部 の て	操璧の 未満の 開き テのおを を り り にける たら に して インシ に は ける ら し に り り に り り り に り り り り り り り り り り り	の関制(の) 同地の かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	変位がの上下 クル・重に 角裏・不傾に る。 外に 直端 を込 がく ないれて いれて いれて いれて いんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょく かんしょく かんしょ かんしょう かんしょく かんしょ かんしん かんしん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしん かんしん	よある 上。 かかか はカンの で がが がが	ロン/ 50 mm	リート系 以上のが地すがて し系いり をの 孔のが地すがて し系いり をの 孔の 大擬る後 果水断	の関目にあり、 テンショネ・ランショネ・ランショネ・ランショネ・リー・ で達。 傾して して し 破壊。 まり、	変化かり、 かんり	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説	2 (仲 3 (日 4 (テ 5 7 8 傷 9	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 権。ななめひで はらんでい が 原理 が が の が の が の が に が の が に が い に い ら い に い ら に ら い ら に ら に ら ら り の に ら り に ら り の り の り の り に り の り に り に り に り に り に	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ びわれかいるがあれがいるがいるがいるが、 板付練器	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支険満。末 末きの 小 2 個	にしい 版書が 成を 成本が の の の の の の の の の	クリート: (変) 目も。 及る) に場 がっている といい かいっと かいっと かいっと アンドン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	系操壁 があず かか が 対 かか が 対 か が 対 か が が が が が が が が が	の場合 る。 れ又は (積低 はでは である。 はでは である。 にでる。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にでる。 にである。 にでる。 にでる。 にである。 にでる。 に。	· 2 mm :目地 :	(1) 1	リ) ~ 50 世 地すがリのクりがクラ。部のて ・ 10 世 にり 10 乗 を ・ 見ッ) を コント で 10 世 にり 10 乗 を ・ 見ッ) を コント る	操璧の 未満の 開き テのおを を り り にける たら に して インシ に は ける ら し に り り に り り り に り り り り り り り り り り り	の関制(の) 同地の かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	変位がの上下 クル・重に 角裏・不傾に る。 外に 直端 を込 がく ないれて いれて いれて いれて いんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょく かんしょく かんしょ かんしょう かんしょく かんしょ かんしん かんしん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしん かんしん	よある 上。 かかか はカンの で がが がが	ロン/ 50 mm	リート系 の いか 地すがて し 下であ をの とり	の関目にあり、 テンショネ・ランショネ・ランショネ・ランショネ・リー・ で達。 傾して して し 破壊。 まり、	変化かり、 かんり	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中輸目地前後 不同沈下・左。 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 練壁の折損が 。はらんでも カラウを境に チャン・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ ・ずれ・ びわれなか曲ないるが曲な板付掘! 板付掘!	・ 中抜け) ・ ら起きるも 線的でなく、 している) ・ 意の支柱の根) 被害	支末端 5 mm 未 5 の	にしていて、 にはの際に にはがある。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。	クリート:変別 目も。 ラミち也整 これ 蜂類 ことが 下です 油製	系嫌壁があってが中状に垂ばない。 下のずが対合: でいては、 でいて、 がある。 かに、 でいて、 、	の場合 れ又は け(積石 下面 以 で を を を う) いる。 上 じある・	· 2 mm :目地 :	(1) 1	リ) ~ 50 目 盤 が リ の ク り か ク う) 部 の て	操璧の 未満の 開き テのおを を り り にける たら に して インシ に は ける ら し に り り に り り り に り り り り り り り り り り り	の関制(の) 同地の かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	変位がの上下 クル・重に 角裏・不傾に る。 外に 直端 を込 がく ないれて いれて いれて いれて いんしょう かんしょう かんしょ かんしょう かんしょく かんしょく かんしょ かんしょう かんしょく かんしょ かんしん かんしん かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしん かんしん	よある 上。 かかか はいかの なかか がが	ロン/ 50 mm	リート系 以上のが地すがて し系いり をの 孔のが地すがて し系いり をの 孔の 大擬る後 果水断	の関目にあり、 テンショネ・ランショネ・ランショネ・ランショネ・リー・ で達。 傾して して し 破壊。 まり、	変化かり、 かんり	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 権。ななめひで はらんでい が 原理 が が の が の が の が に が の が に が い に い ら い に い ら に ら い ら に ら に ら ら り の に ら り に ら り の り の り の り に り の り に り に り に り に り に	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ ・ずれ・ びわれなか曲ないるが曲な板付掘! 板付掘!	・ 中抜け) ・ ら起きるも 線的でなく、 している) ・ 意の支柱の根) 被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、	クリート・変し、 ままない は は は は は は は は は は は ままない ままない まま	系嫌壁があずが 対合: い場合 い場の でいっか がり は 手端 いっぱい かんしょ いっぱい かんしょ いんしてい しんしてい してい してい かんしてい してい かんしん いんしん かんかん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	の場合 れ 又は け(種種 以 回 を な ク を し で ある) に 上 が ラック か 。	・2 mm 目地	(1) 1	リ) ~ 50 目 盤 が リ の ク り か ク う) 部 の て	操璧の 未満の 開き テのおを を り り にける たら に して インシ に は ける ら し に り り に り り り に り り り り り り り り り り り	際間に 地 かった	変的がの上下の上垂に下の上手に のよっ 生 一 の と で と で で で で で で で で で で で で で で で で	よある ある よ。 よ。 なりは しい のが 地か 地か	コン/ 50 mm 地れ地弧壁っ 見ーしが 機栓 水 機能	リート系のが地すがて しんてあ をの 孔が しんがり 果実明 のまれがて しんてあ をの 孔が したり 果実明 のまれ	の際間が、ランシミステのとは、ランシミステのとは、 で変め、 は、 でである。 は、 して で ないない しして ないない は、	変化かり、 いかれて かい かい かい かい ない	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中輸目地前後 不同沈下・左。 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 練壁の折損が 。はらんでも カラウを境に チャン・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ ・ずれ・ びわれなか曲ないるが曲な板付掘! 板付掘!	・ 中抜け) ・ ら起きるも 線的でなく、 している) ・ 意の支柱の根) 被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、 にはの際に にはがある。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。	クリート・変し、 ままない は は は は は は は は は は は ままない ままない まま	系嫌壁があずが 対合: い場合 い場の でいっか がり は 手端 いっぱい かんしょ いっぱい かんしょ いんしてい しんしてい してい してい かんしてい してい かんしん いんしん かんかん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	の場合 れ又は け(積石 下面 以 で を を を う) いる。 上 じある・	・2 mm 目地	(1) 1	リ) ~ 50 目 盤 が リ の ク り か ク う) 部 の て	操璧の 未満の 開き テのおを を り り にける たら に して インシ に は ける ら し に り り に り り り に り り り り り り り り り り り	際間に 地 かった	変的がの上下の上垂に下の上手に のよっ 生 一 の と で と で で で で で で で で で で で で で で で で	よある ある よ。 よ。 なりは なりか ので のが が 地か	ロン/ 50 mm	リート系のが地すがて しんてあ をの 孔が しんがり 果実明 のまれがて しんてあ をの 孔が したり 果実明 のまれ	の際間が、ランシミステのとは、ランシミステのとは、 で変め、 は、 でである。 は、 して で ないない しして ないない は、	変化かり、 いかれて かい かい かい かい ない	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中衛日地前後で 不同沈下・ 打地上下・ ニッションクラック 傾斜・ 例域 練壁の折損が ななめひで はらんでいる ではらんでは がなめび 、アックを境に鈍 、乗り出し床 、基礎及び基 ・ 排水施設の	のずれ) 同地の開き ・ずれ・・ びわれか曲が 板付掘場 板付掘場 の水道管	・ 中抜け) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、	クリート・変	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合 れ 又は け(種種 以 回 を な ク を し で ある) に 上 が ラック か 。	・2 mm 目地	ロ末5 5れ 宅円擁(コ以上ッおー合る機柱え たの)	リ) ~ 50 目 盤 が リ の ク り か ク う) 部 の て	擁壁の テンシス () にける。	の間間にの目地ある。 かいクタットれ無した。 たれがした。 かいにり、かいにり、かいにり、かいにり、かいにり、かいにり、かいにり、かいにり、	変位がの上下の上垂に 一角 裏 トラー・ストラー・ストラー・ストラー・ストラー・ストラー・ストラー・ストラー・ス	ある かず 上。 なりは ない ない ない のが 地か 地か	コン/ 50 mm 地れ地弧壁っ 見ーしが 機栓 水 機能	リート は 取り は ない は な	の際間が、ランシミステのとは、ランシミステのとは、 で変め、 は、 でである。 は、 して で ないない しして ない しし ない はい しし ない はい しい ない はい しい ない はい	変化かり、 いかれて かい かい かい かい ない	ぶある のずれ 転車 クリカ を あっかり その 樹 もの を も の かり でも 東	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (併 3 (日 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中輸目地前後 不同沈下・左 ハラミ シションクラック 頼料・倒壊 嫌壁の折掛めでも はたらんでも がよらんでも がまならんでも がまなられている。 はを改せる。 基礎及び基 排をでする。 様性でする。 はなびよりなでも をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をな。 をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 を、 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。	のずれ) 同目地の開き ・ずれ・ ・ずれ・ びわれか曲れ 板付・焼盤の 水 一 本 が 力 本 の 用 き の 関 き の 関 き 。 を の 内 の 内 の 内 の 内 の ト の ち の 大 の 大 の 大 り れ と 大 り も と り と り と り と り と り と り と り と り と り	中抜け) 中抜け) いら起きるも、線的でなく、 いている) 売の支柱の根 一被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・変し、 ままない は は は は は は は は は は は ままない ままない まま	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合	・2 mm 目地	ロ末5 5れ 宅円擁ロ以上ッお一合る礎柱え 左ら 無	リー〜50 mm に対すがリの人の 1 にり 1 を 1 にり 1 で 1 にり 1 にり	探壁の ・ 本 ・ 本 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	際間にの目地ある。 かいとれた対合 かいるカクリカ方 でが、 なっているカックカ方 でが、 なっているカックカ方 でが、 なっているカックカ方 でが、 なっているカックカラック なっている。	変のの上下 の	あるのず 上50 mm は20の位と かりか 上6が 地か	ロン/ 50 mm 地名 1 mm 地	リート 以 以のが地すがて し糸であ をの 孔が 医 医 しんきる ないり 似る 大振る後 果恵町 あまれ 度 し	関目しまり、 できょ しし破 まれ 判 にない こうこう できょ しし で ない まれ と こっぱい こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう しん はい	変化かり、シャル・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	ぶある ですな 作りり そのもの なりでも り、 ぶあり、	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 恒線・何なか が は、ならんで、 ・ はらんで、 ・ ・ は、なら が で が が が 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のずれ) 同地の明き ・ずれ・・ びわれか曲なるが曲な 板付 嬢 を変状	中抜け) 中抜け) 中抜け) から起きるも、 線的でなく、 でいる) 変の支柱の損 の被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・変	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合	・2 mm 目地	ロ末5 5れ 宅円擁ロ以上ッお一合る礎柱え 左ら 無	リー〜50 mm に対すがリの人の 1 にり 1 を 1 にり 1 で 1 にり 1 にり	探壁の ・ 本 ・ 本 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	際間にの目地ある。 かいとれた対合 かいるカクリカ方 でが、 なっているカックカ方 でが、 なっているカックカ方 でが、 なっているカックカ方 でが、 なっているカックカラック なっている。	変のの上下 の	あるのず 上50 mm は20の位と かりか 上6が 地か	コン/ 50 mm	リート 以 以のが地すがて し糸であ をの 孔が 医 医 しんきる ないり 似る 大振る後 果恵町 あまれ 度 し	関目しまり、 できょ しし破 まれ 判 にない こうこう できょ しし で ない まれ と こっぱい こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう しん はい	変化かり、シャル・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	ぶある ですな 作りり そのもの なりでも り、 ぶあり、	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中輸目地前後 不同沈下・左 ハラミ シションクラック 頼料・倒壊 嫌壁の折掛めでも はたらんでも がよらんでも がまならんでも がまなられている。 はを改せる。 基礎及び基 排をでする。 様性でする。 はなびよりなでも をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をなる。 をな。 をなる。 をな。 をなる。 をなる。 をなる。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 を、 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。 をな。	のずれ) 同地の明き ・ずれ・・ びわれか曲なるが曲な 板付 嬢 を変状	中抜け) 中抜け) 中抜け) から起きるも、 線的でなく、 でいる) 変の支柱の損 の被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・変	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合	・2 mm ・目地 ・	口末5 5れ 宅円擁(ロ以方で列場)い基支見 左ら 無小中	リー〜50 50 50 1世 はり面柔に強い がラ) をコい えが という 10 1世 にり面柔に強いをした シーシン えが 害 害	探壁の ・ 本 ・ 本 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	際間 10 回動 20 回動	変のと下で、	あるのず 上50 加 レンのて	ロン 50 mm 地 れ地 弧壁っ 見一しが 機 支 水機 と 類 間 当 と 類 面 に	リート 以 以のが地すがて し糸であ をの 孔が 医 医 しんきる ないり 似る 大振る後 果恵町 あまれ 度 し	関目しまり、 できょ しし破 まれ 判 にない こうこう できょ しし で ない まれ と こっぱい こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう こうこう しん はい しん はい しん はい こうこう こうしん しん はい しん はい しん はい こうしん しん はい	変化かり、シャル・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	ぶある ですな 作りり そのもの なりでも り、 ぶあり、	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 恒線・何なか が は、ならんで、 ・ はらんで、 ・ ・ は、なら が で が が が 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のずれ) 同地の明き ・ずれ・・ びわれか曲なるが曲な 板付 嬢 を変状	中抜け) 中抜け) 中抜け) から起きるも、 線的でなく、 でいる) 変の支柱の損 の被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・ (東) 日も。 ラをも盤整 こわ 離り トランド です 油製 出出 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合	・2 mm 目地	口末5 5れ 宅円擁(ロ以方で列場)い基支見 左ら 無小中	リー〜50 50 50 1世 はり面柔に強い がラ) をコい えが という 10 1世 にり面柔に強いをした シーシン えが 害 害	探壁の	際間間 の 日地ある	変のよう クレモニ 角変系傾向 さいれて マード は、点 点 点 点 点 ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ま	ある よ50 なり壁し 筋が 地か をの 点 に に に に が が が が が に に に に に に に に に に に に に	ロン 50 回 11 150 回 11	リー以 以のが地すがて し系であ をの 孔が 陰 無 よいきるにり悩る 大練る後 果柳 高吉か 度 し 労 り り	の関目が、 テンパー・ できょく している まれ 判定 と 出 に と と と と と と と と と と と と と と と と と	変の人となって、シャン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ぶある すれを のか、 ククリー その しの もの もり もり もの もり かり 、	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 恒線・何なか が は、ならんで、 ・ はらんで、 ・ ・ は、なら が で が が が 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のずれ) 同地の明き ・ずれ・・ びわれか曲なるが曲な 板付 嬢 を変状	中抜け) 中抜け) 中抜け) から起きるも、 線的でなく、 でいる) 変の支柱の損 の被害	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	として 高の の の の の の の の の	クリート・ (東) 日も。 ラをも盤整 こわ 離り トランド です 油製 出出 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合 れ 又は け(種種 以 回 を な ク を し で ある) に 上 が ラック か 。	・2 mm ・目地 ・	口末5 5れ 宅円嫌(コリラマが)場い基支見 左ら 無小中	リー〜 ~は 地すがリのクり、かう。 部のて 加湧 被 被 被 トチョョ 『単 にり面系経で調かト傾を、見っ)をひて、 え水 害 害 害	探撃の	の隙 目地あっ タケ無し合 からあコン前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	変のよう 角 重天 度 裏 系領 いっこく は に 点 点 8.5 き に は な に は な に 点 8.5 き かん と は な に か に と は た ま え か と か に と か に と か に と か に と か に と か に と か に と か に か に	あるず 上。	ロン 50 mm = 5	リーリー以上の別が地すがて し系であ をの 孔が 医 無 ま これがら 大腿の とり い とり ない しょく とり	D際間に りが。 こうから できょく しい はい	変のし、シとれ皮ととうといいない。 破る。 なり 選 難 類	ぶある すれを のか、 ククリー その しの もの もり もり もの もり かり 、	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (俳 3 (目 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中縮目地前後 不同沈下・左 ハラミ ンションクラック 恒線・何なか が は、ならんで、 ・ はらんで、 ・ ・ は、なら が で が が が 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のずれ) 同目地の開き ・ずれ・ ・ずれ・ ・びわれか曲れ 板付け練髪 の水道管 ・刺足定値を変水	・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支流過去 5 mm 末 5 mm 末 5 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 6 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm 末 8 mm 末 7 mm x mm x	にしつ 順 の お で は が か が き で が ま で が で が で が 次 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	クリート: 変) () () () () () () () () ()	系嫌壁の下のでは、 対合: に合かり、 では、 がり、 は、	の場合。 れ又はは(積石 円面 50 mm を 5 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 8 を 8 を 8 を 8 を 8	・2 mm ・目地 ・	口末5 5れ 宅円嫌(コリラマが)場い基支見 左ら 無小中	リー〜 ~は 地すがリのクり、かう。 部のて 加湧 被 被 被 トチョョ 『単 にり面系経で調かト傾を、見っ)をごい、 表水 害 害 害	探撃の	の隙 目地あっ タケ無し合 からあコン前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	変のよう 角 重天 度 裏 系領 いっこく は に 点 点 8.5 き に は な に は な に 点 8.5 き かん と は な に か に と は た ま え か と か に と か に と か に と か に と か に と か に と か に と か に か に	あるず 上。	ロン 50 回 11 150 回 11	リーリー以上の別が地すがて し系であ をの 孔が 医 無 ま これがら 大腿の とり い とり ない しょく とり	D際間に りが。 こうから できょく しい はい	変のし、シとれ皮ととうといいない。 破る。 なり 選 難 類	ぶある すれを のか、 ククリー その しの もの もり もり もの もり かり 、	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破
の程度 大・中・小の概要説明	2 (付 3 (日 4 (テ 5 7 8 8 9 10	水平移動 中輸目地前後で 不同沈下・左っ ハラミ シションクラック 頼斜・倒壊 様なならんで、 はならんで、 が まずならがで、 が まずなが 様なび は 様なび は 様なび は 様なび は は 様なび は は 様なび は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	のずれ) 同地の開き ・ずれ・・ がわれか曲が を必要状 の水道管 ・ 関系 ・ がわれか曲が を を の の の の の の の の の の の る の も の も の を の を の を の を の を を を を を を を	・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支流湖。末 5 mm 未割 規 4 mm 水 2 mm 水 3 mm x 3 mm	にしてい には には には には には には には に	クリート: 変) () () () () () () () () ()	系織性 あず 対合 い 場い 骨つい が損か でい 対合 い 場い 骨つい ツクケ に し し 一 小 小 面 し し 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	の場合。 れ又はは(積石 円面 50 mm を 5 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 8 を 8 を 8 を 8 を 8	- 2 mm 目地 「が1」に構ってに 境にでは、 の。又ら	口末5 5れ 宅円嫌(コリラマが)場い基支見 左ら 無小中	リー〜 ~は 地すがリのクり、かう。 部のて 加湧 被 被 被 トチョョ 『単 にり面系経で調かト傾を、見っ)をごい、 表水 害 害 害	探撃の	「	変の5。 ケー・重天 度要系領 るれ 又 善 点 点 8.5 き (危) まま 点 立 修	あるず 上50 な か 壁し	ロン 50 mm = 5	リー以 以のが地すがて し系であ をの 孔が 医院 ほ は レ 、 トチレークラスにり何る 大振る後 夫術 の失わ 度) 労 し 立	の際間にします。 のが、テのでもできる傾しし破まれれています。 は、入れていますが、 のでは、していますが、 にないまれていますが、 にないまれていますが、 には、まれていまが、 には、まな、 には、まな、 には、まな、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	変 の)、	ぶある ずれを りり そ ものをもり	1又は 別のお 機能を 。(コン 終に前 物断破

(様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

		7,00		the same of the same of the same	3.50			1025			
	≓æ		नाई	調査日時	4	年 月	日	時	調査番号		
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	名					
	**	. LE ===		都	道府県		ブルーシ	ートて	:措	区町	村
	被害発生				地区	(団地	置されて	いるた	めょ		号
	所有者・管理	里者氏名				記入者氏名		TEL			
	所有者•管	理者の				居住者への	口済 口非	卡了			
	連 絡	先	TEL:			説 明		口居住者	不在 口	老人独居	住宅
写	真・図。	+ 11 =	〈被	災 状	況	図>		応急措置	置 ☑済 □]未了	
	——————————————————————————————————————		\ 19X	× 1/	1)L			□被災纬	無 □簡易 記	2録	
	1.クラック	2.水平移	動 3-1.不	同沈下 3-	2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾 斜	5-2.倒	壊 6. 擁壁の	折損 7.	崩壊
	\$\frac{1}{2}				$\stackrel{\longleftarrow}{\longrightarrow}$					\sim	
	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損傷	9.基礎及で	び基礎地盤の被	接害 10.排水	施設の変状		建物・	道路との位	置関係(基礎点)
					~			- 影響範囲外((A) II OH 量	響範囲外(B)
	※簡易記録を	をする場合	合は、被災	状況図は省	育略するこ.	とができる。			1.7H		
	ただし、調査	荃箇所が 分	かるよう	判定結果を	住宅地図	上に記載し、	被害が無いこ	とが確認で	できる全景等	了真を撮	影する。



擁壁の基礎	擁壁の種類	□コンクリート□練石積捥	糸 排 壁	□L(逆T)型 □もたれ式 □その他 □場所打ち □間地石 □その他[□ 重力式 □ プレキャスト □ コンクリートブロック	1	□増積み擁壁 □二段擁壁	水抜	情は構造的に 孔の効果がある為、 状況で判断。] m]] m
基礎的条件	類	☑空石積掬		□玉石積 ☑間地石	口くずれ石積		□張出し床版付納 擁壁の設置条件	産壁	□その他 □切士・盛土境 □軟弱地盤上 □化]
				□その他[]	癕壁の勾配		度 又は (1:)
#	1	湧水		出し、流出	写真よ	10	撃範囲に建物または違 0 0.4 0.8	経がある	□影響範囲に建物または道路がない(B)00.20.4	基礎点計
基礎	2	排水施設	水抜孔		f、表面水の浸透阻止 kが浸透しやすい ・寸法が不適当		0 (0.4) 0.8		0 0.2 0.4	1.0
点	3	高さ	H≦1m 1m <h 3m<h 4m<h 5m<h< td=""><td>i [≦3m [≦4m [≦5m</td><td></td><td>図より</td><td>0 0.2 0.4 0.6 0.8</td><td></td><td>0 0.1 0.2 0.3 0.4</td><td>1.0</td></h<></h </h </h 	i [≦3m [≦4m [≦5m		図より	0 0.2 0.4 0.6 0.8		0 0.1 0.2 0.3 0.4	1.0

X	程度			力	,						þ						た		
分	項目	コンクリ	練積	增積	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2段	張出	空積	コンクリ	練積	增積	2段	張出	空積
	1 クラック	1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
	3 不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
3	4 ハラミ		4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
100 E	5 傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
	6 擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
5	7 崩壊		9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
1	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損傷					7						9						10	
į	9 基礎及び基礎地盤の被害									10							-		
	10 排水施設の変状			3													7		
_	11 擁壁背面の水道管等破裂			-				_		10	-								
-	項目/程度		Mr - 1	力		e 148.61		-	20	I Mi	þ						た		
	1 クラック(幅)	2 加末 支障な				、機能の場合			~20 m リート系	□未満 擁壁の)場合	2mm∼	-5 mm	20 mm (コンク		擁壁の	D場合	5 ㎜以	F)
		未満)。						未満											
	2 水平移動	5 mm未	満の腐	間(変)	分があ	る。		5 mm	~50 mm	未満の)隙間(変位)カ	ある	50 mm	以上の)隙間(変位)カ	ドある	
	(伸縮目地前後のずれ)																		
5	3 不同沈下・目地の開き	5 m未			下のす	れ又は	:日地	150000000000000000000000000000000000000		m未満			のす					のずれ	
)	(目地上下・左右の開き)	の開き	かめる	0.				和义	は日地	の開き	きかめる	5.			の開き が有る		人、消男	办、転 径	1073
	4 ハラミ	小規模	inn=	5 3 T/-7	Kristi:)ナ/(毛)フ	こみじ 1	See July	日本単位リフ	テンショ	· hh	7-fur.1					いんちゃ	ク有り	
	(テンションクラック・ずれ・中抜け)	~2個			ハース	八代红	1//- 1			のおそ						のおそ			
-	5 傾斜・倒壊	雑壁カ			計1.番	古田下	: (7			神盤に			=		9 - 41	W 12 1-1	,		きを
7	O PHANT PARK	ンクリー								擁壁の			写	自	•	义	上	()	2.2
		の傾斜		1 > - //4	11.74	iii oo iii	- Idlia		の傾斜		- MI	. , ,				-			
1	6 擁壁の折損	クラック		わずた	いに角	度をな	して			に明ら	かに	角度を	なし	一見	して大	である	5と判	るもの	。(コン
,	(横・ななめひびわれから起きるも	いる。						てお	り、抜	け石カ	ぶあり、	裏込	めコン	クリー	卜系擁	壁の場	合クラ	ックを境	に前
כ	の。はらんでいるが曲線的でなく、	(コンクリ	一个系	雍壁の	場合ク	ラックを	境に			える。(傾し	ている	。又は	t, 1 mm	でも剪	游破
Œ	クラックを境に鈍角に折れている)	わずか	に前他	頂しては	いる。)				を境に	二前方	に傾斜	して	壊が	あり後	傾して	いる。	,)	
更					-V-2			112					1						
兑	7 崩壊	中間辺								して消			2			してい	ない。)	
月	8 張り出し床板付擁壁の支柱の損 傷	支柱に	ひびた	「入っ	ている	0		250000000000000000000000000000000000000	のコンク	り 1-ん	べるか。	れて鉄	筋が	支柱	の剪肉	破壞。			
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模	な沈つ	下やクラ	ックが	上じて	いる。	1 20.0					7						
	10 排水施設の変状	天端排	水溝に	こずれ、	欠損	がある	。又	左に	加え接	経壁のグ	ウラック	又は目	地か	水抜	孔の記	まり、	破損力	ばあり、	排水
		は、天	端背面	i、舗装	面にク	ラックカ	見ら	50	湧水が	ある。						れてい			TE / 10 TH
		れる。			200.00									300000000000000000000000000000000000000					
	11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂し			してい	る。													
		ž	基礎点	į_ +	- 変	状点					☆被	害程度	その点	数と允	並険度	判定了	*		
	ملاحث اللاح مالياليا		1.0	+		9.0		無	被害	:	0 д	点(防	災上	問題無	無し)				
×	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数	_			ļ			小	被害	: 1	~4.5	点未	満(当面に	は防災	き上門	周題無	EL)	
	無被害の場合は基礎・被害点の記載無し						7	中	被害	: 4.5	点~	8.5	未清	t: Î					
			=	=	10.	.0	点		LA H						-	. 20 1	r vpe se	41	
							⅃‴			113.100,000				進行し				ŧ)	
	危険度判定	☑大		中	口力	\ [〕無	大	被害	: 8.5	点~	(危険	、要	避難	、立	入禁	止)		
	所見(記入者の意見) 緊急度	☑大					-			(人台	す・財力	産・交	通の3	点を半	定基準	色とす	る。)
	無被害の場合は記載無し拡大の見込	☑有			ME		判断不	THI.		- 1	備表								1

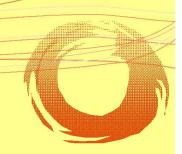
/操子 1/校院协会化海那木 各阶库利公司

			調査日	時	白	E Ji		日	時調	直番号	
調	查	票	-		雨災害			147/50			<u> </u>
	W. 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20				府県		市	郡			区 町 村
皮 害 発 生	場所				7007	団地			目	番	号
所有者・管理	者氏名					記入者氏名			TEL:		
所有者・管					_	居住者への	_	口末	行		
車 絡		TEL:				説明	100000000000000000000000000000000000000		□居住者不		老人独居住宅
		<被	災 丬	犬	況	図>			応急措置 □被災無	☑済 □ □簡易記	
.クラック	2.水平和	多動 3-1.	不同沈下	3-2. ₺	地の開き	4.ハラミ	5-1.傾	斜	5-2.倒 壊	6.擁壁の	折損 7.崩 場
37		-	1					<u></u> -	- Carried Control		
・張出し床版付擁国	産の支柱の損	傷 9.基礎及	及び基礎地盤	の被害	10.排水	施設の変状		Ĩ	建物・道	路との位	置関係(基礎点)
	7			_	- Tank				_影響範囲外(B)_	影響範囲	影響範囲外(B)
※簡易記録を							101-2	Į.		1. 7H	真を撮影する。
2	ラック 1.00	2.3~3.2m	2	建物建物 33				建物	2.3~3.2n	1. Omm 木柵	等速
ali /// Relata	# F -		平面図]	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	w 11 5	.). (T		[断面図]	}	
披 災 写 真 の 特記事項		2000000	責崩壊	41.00000000)~ <u>④</u> の恐れ	しあ	ŋ		:

崔差			□L(逆T)型 □もたれ式 □その他		重力式				□増積	る海	壁		持	自積部分 経壁部分 全擁壁部]6		n	1 増設	語]] m
2	雑壁の種類□練石種		口場所打ち		プレキャ	자							-	:部[- 1110	41.4]
生性	ある □練石程	计编程	□間地石		コンクリー	ートブロッ	ック		口二段	と擁壁			- 8]第2]
5	類	(1)1-1-1	□その他[□玉石積		くずれ	7°48]	mare d	r) etel	C. I. I-lide	R&		上部高	d• ſ	n	1;下	部高			1
1	□空石利	HARRY	□式和模		940	- 11 恒)設置	反付擁 各件	<u> </u>]そのf]切土		倍 口	1455341	h我 -	□他□	□禾昢	J
F	E-11B	CHARME	□その他[[]	擁壁の		*11		1	371L			(]			_ 1.93)
	·		-					影響	季範囲に	建物ま	たは道	路がある	5 E	影響範	囲に建	物また	は道路が	がない(E	3)		
		乾燥								0)					0			_		
	①湧水	湿潤	出し、流出							0.8						0.2			_	til-rik	le d
ţ			L有、天端排水	満有、表	面水の	O浸透	ALI:			0.8			_			0.4			-	基礎,	
推	②排水施設		L有、天端は表							0.4						0.2					
E	trion Vittosprovider sear on		L無、あっても	数・寸法	去が不	適当				0.8		- 10 20				0.4			_	4 (n
į		H≦1r	n H≦3m							0.2						0.1			_		_
	③高さ		n≦am H≦4m							0.2						0.1					
	01.70		H≦5m						(0.6						0.3					
		5m<								0.8						0.4					
5	項目		程度 擁壁種類	コンクリ	alt als	増積		張出	空積	コンカリ	Self Els	增積	9 83	張出	90 E8	マンカリ	Salt Etc	増積	大りの	28 11	20
	1 クラック		7年上午上大只	1	2	3	4	5	T. BI	2.5	3.5	4	5	7	T. 80	4	5	6	7	8	1
K	2 水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	
5	3 不同沈下	・目地の間	利き	3	3.5	4	5	8	0	4.5	5	6	7	9	0	6	8	8	9	10	-
5	4 ハラミ5 傾斜・倒	壊		5	4.5 5.5	5	7	8	8	7	8	8	9	9	9	8	9	10	10	10	-
200	6 擁壁の折			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
3	7 崩壊				9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	L
1	 8 張り出し房 9 基礎及び 		支柱の損傷 Date					7				10		9						10	
į	10 排水施設		7 权音			3	3						5					- 0	7		
	11 擁壁背面	iの水道管										10									
-	1 クラック	項目/程度(加速)	Ę	9 mm ‡:	法のク	リラッカけ		が、機能	£ 1-00	9mm	~20 m		þ			20 m	1以上		大		
	1 ////	(PHI)						の場合					D場合	2mm~	5 mm			秦雄壁	り場合	5 mm以	(上)
-	O Latter			未満)。	H a P	hmi/-&-	LL\ 1 * 4	. 7		未満		Ja Mir a	> 19/5-111/-	de Ela\ 2	· Jr - 7	70	DL L	5 P/5 III/	-A- (-L-)	*4 7	
	2 水平移動 (伸縮目地前?	多のずれ)		5 mm未	河の阪	訊间(変	(VL)70×8/	かる。		o mm	~ 50 mm	1木酒0)原訂訂(変位)が	める	90 mi	1以上0	の隙間(炎仏)7	いめる	
ど大	3 不同沈下 (目地上下・)	目地の問		5 mm未 の開き			下のす	れ又は	t 目地			m未満 中の開き		の上下 る。	のず	日地	の開き	の目地			
呈	4 ハラミ			小田林	in na	= > 71.	アドナナナ	-) 1 /(##7	T-365 1	CP HI	1d.85)>	-=\	n.hh.	ク無し	×		が有る		· . // =:	. hds V	
E	(テンションクラッ	ク・ずれ・	・中抜け)			アミ及(ちる)		さけ(積イ	1//- 1			のおそ						ニテンシ:) のおる			
٤	5 傾斜・倒			擁壁カ	前面地	也盤に	対し垂	直以下		擁壁	が前面	[地盤]	こ対し	垂直以		擁壁	が前位	頁・倒り	衷して		幾能
`				ングリー		壁の場	合:天	端 50 m	n未満		リート系 の傾斜		D場合	:天端	50 mm	失っ	ている	5もの。			
þ	6 擁壁の折	損				こわずフ	かに角	度をな	こして	_			うかに	角度を	なし	一見	してナ	てある	5と判	るもの)。(:
1			から起きるも	いる。	1-	LL III A			100.10					裏込				壁の場			
9 円	クラックを境に		線的でなく、 れている)	わずか				ワラックを)	现化					-ト系操 に傾斜				ら。又に を傾して			1319
E .										1/2	-										
ź.	7 崩壊	压压化物	壁の支柱の損	中間辺支柱に								して光		いる。 れて鉄	95:75			こしてい 「破壊。	ない	•	
1	傷	7/CDX1339E3	EVYXILVYIK	ZILIC	.00%	,,,,		*			ている		10.77	40 (3)	JUN -	211	,v))) ii	THEARC			
		基礎地盤の	9被害					生じて											and the	2 t- t-	
	10 排水施設	どの変状						lがある フラックカ			加え扱 湧水か		クラック	又は目	地か			告まり、 つれてい		いあり.	、排
				れる。	20-2-20-	50 95/850	205093)		,,,	-		-, -,				DAIL		-,			
1	11 擁壁背面	iの水道管	等破裂	破裂し					8	1			A Auto	de Crist	5 A 1-	49. 1. /	2.92. ob	alute's			
					甚礎点			坡害点	7	-				害程度					М		
	被生	の判定値	í	'	1.0) ⊣	+ 9	9.0		590	被害			点(防	00000 000						
		気の最大値を	ど加えた点数	_		_	_		_	小	被害	: 1	~4.5	点未	満()	当面に	は防災	泛上提	問題無	€L)	
		基础·被害	点の記載無し				4		٦.,		被害	: 4.5	点~	8.5 点	未清	ij					
	無被害の場合は	mane include												200 200							
		ine inti			=	Ē	10	0.0	点	1 -		(制	限付	き立	人、i	進行	してい	いれば	ズ 避 葉	隹)	
	無被害の場合は	度判定		大		= 申	8525 Jun 2	V. C	J		被害			き立 (危険						隹)	

危険度判定票を作成してみよう

宅地編/擁壁編







①近



2



②近











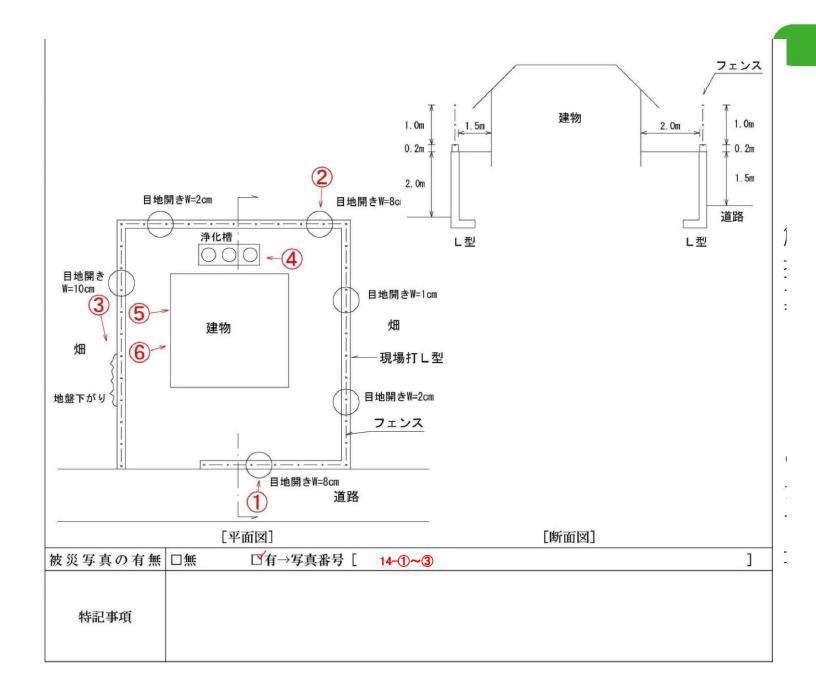


(棣式-	1)擁生	是被害物	犬況調査	・危険	度判定票						
⊐m	-1-	-m:	調査日時	3	年 月	E	3	時	調查番号		
調	企	票	地震名又は	L 降雨災害	名						
Ada eta VO E	L 10 =×		都	道府県		市郡	R			区町村	
被 善 発 3	E 場 所			地区	区 団地		丁目		番	号	s
所有者・管理	理者氏名				記入者氏名			TEL:	(
所有者・管	理者の				居住者への	口済	口未了				
連 絡	大田		人独居住宅	1							
		<被	災状	況	図>						
1.クラック	本		壊								
218	大田 1 日				- AOS	15					
8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	傷 9.基礎及	び基礎地盤の被	害 10.排水	(施設の変状			建物・減	道路との位置	置関係(基礎)	点)
F	ET -		2		RT:		_ \$6	響範囲外(B)			(B)
_	7	-		James						OH	_
※簡易記録	をする場	合は、被災	状況図は省	略するこ	とができる。		_		1.7H		
	接			る。							
		[平	面図]					[断面図]]		
被災写真の	り有無	□無	□有→写	真番号[]
特記事	۹										

- 12														200								
				□L(逆 T)型		重力式									曾積部分]
擁		□コンクリート	系擁膜	□もたれ式						□増積	『み擁	隆		52.5	產壁部分]
壁の	據	L-7//	/NAFEE	□その他										_	全瘫壁产	寄		m	増設	高		m
基	瘫壁			□場所打ち		プレキャ									上部[]
礎	D FF	□練石積攋	ellé:	□間地石		コンクリー	ートブロッ	ク	120		支擁壁			- 0	上歌[]
的	種類	Carrie of the	700	□その他[J					_	上部高		m	1;下音	祁高			m
条				口玉石積		くずれ	石槓			_	北大味		壁		コそのイ			4.774	on r	- N -		
件		□空石積擁	研	□間地石					1		D設置	RIT		L]切土				地盤上 ・	□他□	1个明	_
- 1				□その他[擁壁の		A. 1.4 'Mir	10 15 to 2		T III CARE ON		又は			Λ. [<i>'</i>
			乾燥					-	山泉沙岩	神ய州に	()	たは川	路がある) L	」影音帳	別川に建	物また! 0	よ坦鉛ル	17.EV 1(B)		
	l ni	湧水	湿潤								0.4						0.2					
	•	01/4	endurated with each faire and	出し、流出							0.8						0.4			_	基礎,	5al-
基				有、天端排水	溝有、表	面水の)浸透	Eul:			0						0			\neg	1+2	
rkk	2	排水施設	水抜孔	有、天端は表	面水が	曼透し	やすい				0.4						0.2					
礎			水抜孔	無、あっても	数・寸泡	生が不	適当				0.8						0.4				Г	7 1
点			H≦ln								0						0			_	ட	_
	_	20050		I≦3m							0.2						0.1					
	3	高さ		I≦4m		31 31 31 31 V			100000000		0.4				7.1900	770000	0.2			-		
			4m<1	l≦5m ı				-+			0.6						0.3			-		
区			Jill ()	程度			力	\			0.0		E	þ			0.4		- 1	t l		
分	項			擁壁種類	コンクリ	練積	增積		張出	空積	コンクリ	練積	增積	_	張出	空積	コンクリ	練積	增積	_	張出	空積
	1	クラック			1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
変		水平移動			2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
秋		不同沈下・	目地の閉	le le	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	-
形	<u> </u>	ハラミ 傾斜・倒壊			5	4.5 5.5	5	7	8	8	7	8	7 8	9	9	9	8	8	9	10	10	10
態		操壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
と亦		崩壊			<u> </u>	9	9	10	10	8	Ċ	10	10	10	10	9	r,	10	10	10	10	10
態と変状		張り出し床板	付擁壁の	支柱の損傷					7		7				9						10	
点	9	基礎及び基	礎地盤0)被害									10)						-	4	
		排水施設の		March 201			3												- 0	7		
	11	擁壁背面の)水道管	等破裂									10)								
		25(1	ロノ 4±/3																			
	1	クラック(幅	5)		2 mm未	満のク	ラックは	あるた	び、機能	₹ ŀø	2mm	~20 m	n 未満				20 mm	nDJ E		<u> </u>		
	1	クラック(幅	9						び、機能 の場合			~20 m リート系		r)場合	2mm~	-5 mm		以上 カリート系	擁壁の)	5 mm <i>L</i>)	LE)
		DC 10 70 60 1090	D	•	支障な 未満)。	こし(コン	クリート	系擁壁	の場合		(コング 未満	リート系)	擁壁の				(コンク	リート系				(E)
	2	水平移動	2014 10		支障な	こし(コン	クリート	系擁壁	の場合		(コング 未満	リート系)	擁壁の		2mm~ 変位)か		(コンク	リート系	操壁の の隙間((T)
変	2 (伸	水平移動 縮目地前後6	のずれ)	II -	支障な 未満)。 5 mm未	流し(コン満の隙	·クリート: 3間(変(系擁壁立)があ	の場合 5る。	2 mm	(コン/ 未満 5 mm	rリート系) 〜50 mm	操壁の)隙間(変位)カ	ぶある	(コンク 50 mm	カリート系 ロ以上の	O隙間(変位)が	ぶある	
状	2 (伸 3	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・	のずれ) 目地の		支障な 未満)。 5 mm未	はしつン 満の際 た満の[クリート: 課間(変化 目地上	系擁壁立)があ	の場合	2 mm	(コン/ 未満 5 mm	rリート系) 〜50 mm 〜50 m	排壁の	の目地	変位)か	ぶある	(コンク 50 mm	カリート系 n以上の m以上の	の隙間(変位)が	がある のずね	ル又は
状の	2 (伸 3	水平移動 縮目地前後6	のずれ) 目地の		支障な 未満)。 5 mm未	はしつン 満の際 た満の[クリート: 課間(変化 目地上	系擁壁立)があ	の場合 5る。	2 mm	(コン/ 未満 5 mm	rリート系) 〜50 mm 〜50 m	操壁の	の目地	変位)か	ぶある	(コング 50 mm 50 mm 目地	カリート系 n以上の m以上の	の間にの日地であり	変位)が	がある のずね	ル又は
状の程	2 (伸 3 (目	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ 地上下・左右 ハラミ	のずれ) 目地の開き)	支障な 未満。 5 mm未 5 mm未 の開き	満の際 に満の関	クリート は間(変化 日地上 る。 ラミ及	系擁壁 立)があ 下のす	の場合 5る。	2 mm は目地	(コン/ 未満 5 mm 5 mm れ又 宅地	rリート系) ~50 mm ~50 m には目地 地盤に	推壁の ・未満の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の日地をがあっ	変位)か	ぶある	(コング 50 mm 目地 それ 宅地	リート系 叫以上の の開き が有る 地盤に	の隙間(の目地の があり のこテンショ	変位)か の上下)、滑動 pンクラッ	があるのずる か、転信	れ又は
状の	2 (伸 3 (目 4 (テ:	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ 地上下・左右 ハラミ ンションクラック	のずれ) 目地の開き)	支障な 未満。 5 mm未 5 mm未 の開き 小規格 ~2個	満の際 に満の際 がある。 もがある。	/リート: 関間(変 目地上 る。 ラミ及(すちる)	系擁壁 立)があ 下のず び中抜	きる。 **れ又は なけ(積石	t 目地 i が 1	(コン/) 未満 5 mm れ又 宅地 円弧	rリート系) ~50 mm ~50 m ~50 m は目地 は目地	株壁の は本満の はの開き にテンショ	の目地をがあっ ンクタッ	変位)か の上下 る。 ック無し し	ぶのず	(コン/) 50 mm 50 mm 目地 それ 宅地 円弧	リート系 叫以上の の開き が有る 地盤に すべり	の間間(の目地のであり) こここのおそ	変位)か の上下 り、滑動 いクラッ これ有	があるのずれい、転付の方が	れ又は 到のお)
状の程	2 (伸 3 (目 4 (テ:	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ 地上下・左右 ハラミ	のずれ) 目地の開き)	支障力 表満。 5 mm未 5 mm未 0 開規 4 個 2 個 2 解壁か	はしコン 満の際 に満のト きがある 抜け落 があれる	クリート: 関間(変 目地上 る。 ラミ及(すちる) 地盤に	系擁壁 立があ 下のす び中抜 対し垂	ちる。 がれ又は にけ(積イ 垂直以下	12 mm は目地 にが 1	(コン/) 未満 5 mm れ 2 宅 地 円 擁壁	リート系) ~50 mm ~50 m ~50 m は目地 なが前面	排壁の ・未満の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の目地 があ いクタッ こ対し	変位がの上下る。	あるでのず	50 mm 50 mm 目地 それ 宅地 円 強壁	リート系 叫以上の の開きる が有る が前く が前く	の間間(の) 日地(で) かあり。 こうこう のおそれ のおそれ のおそれ のままる	変位)か の上下 り、滑動 いクラッ これ有	があるのずれい、転付の方が	れ又は 到のお)
状の程度 大・	2 (伸 3 (目 4 (テ:	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ 地上下・左右 ハラミ ンションクラック	のずれ) 目地の開き)	支障力 表満。 5 mm未 5 mm未 0 開規 4 個 2 個 2 解壁か	はしコン 満の際 に満の下 があった 対があれた 対が があれた 対が 前面 は ト系雑	クリート: 関間(変 目地上 る。 ラミ及(すちる) 地盤に	系擁壁 立があ 下のす び中抜 対し垂	きる。 **れ又は なけ(積石	12 mm は目地 にが 1	コンパ 未満 5 mm れ 又 宅 円 雑壁 (コンパ)	リート系) ~50 mm ~50 m ~50 m は目地 なが前面	抹壁の は未満の は未満の はこテンショ のおそ になる が は が は が は が は が は り に り に り れ り に り れ り に り に り れ り に り に	の目地 があ いクタッ こ対し	変位)か の上下 る。 ック無し し	あるでのず	50 mm 50 mm 目地 それ 宅地 円 強壁	リート系 叫以上の の開き が有る 地盤に すべり	の間間(の) 日地(で) かあり。 こうこう のおそれ のおそれ のおそれ のままる	変位)か の上下 り、滑動 いクラッ これ有	があるのずれい、転付の方が	れ又は 到のお)
状の程度	2 (伸 3 (目 4 (テ) 5	水平移動 線目地前後の 不同沈下・ 地上下・左右 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 擁壁の折損	のずれ) 目地の『 ちの開き ・ずれ・	・) 中抜け)	支障な 未満。 5 mm未 5 mm未 5 mm未 5 mm未 0 開規 個 2 解壁 3 ンクリー の傾斜 0 ラック	はしつン 満の際 法がある 技が前が 大学が がより 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が 大学が	クリート: 関間(変) 目地上 ラミ及(すちる) 世盤の場	系擁壁 立があず 下のず が中抜 対し垂ば 対こ天気	ちる。 がれ又は にけ(積イ 垂直以下	12 mm は目地 「が1	コンパ 5 mm 1 mm	リート系 ~50 mm ~50 mm ~50 mm ~50 mm ~50 mm ~は 盤べ前ト傾境 境を境	操壁の は未満の に大満の にアンショ のお名 が のお名 を が に明ら に明ら に明ら に に に に に に に に に に に に に	の目地がかりない いクタッシャル無し ことがあることがある。	変位)かの上下る。	ぶある 下のず し上。 50 mm	(コン/) 50 mm 50 mm 目 を も も と も り 発 生 の し り の り り り り り り り り り り り り り り り り	リート系 叫以上の のが相談に ががれて いして大	の間間の の目地であり。 ニテンショ のおそで 頃・倒切。	変位)かの上下の上下がいた。 かんり いんり いんり いんり いんり でんして とと判	がある のずれ いか (を) かい (を) との (と) その (と) るもの	n 又 は 例 の お) ・
状の程度 大・	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・左右 ルラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 嫌壁の折損・ななめひ	のずれ) 目地の問 たの開き ・ずれ・ びわれな) 中抜け) aら起きるも	支障な 表満。 5 mm未 5 mm 月 規 個 かっ の イラック いっ の ラファン シアン シアン シアン シアン シアン シアン シアン シアン シアン シア	はしつい 満の際 表がある。 技があれる 技が直接 ト系操 りを境に	クリート 開間(変 同地上 る。 ラミ及ら) も整に場 こわずが	系擁壁立があずで中抜け、大変では、	きの場合 ちる。 "れ又は なけ(積イ 直以下 魔をな	12 mm は目地 「が1」 「のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	コンパ 表 mm	リート系 ~50 mm ~50 mm ~ 50 mm	操壁の は未満の に大満の にアンショーのおその が発撃の は、 に明らなけるか	の間に の目地あ いクタ無し かあり があり	変位がの上下る。	ぶある でのず し上。 50 mm	(コン/) 50 mm 50 m地 七 七 円 雑 失 ー クリー	リート系 の以上の のが 地すが のが して が して 大 を に り に し に の に に の に に に の に に に に に に に に に に に に に	の間間の の目地であり こテンショのおその はもの。 である	変位がの上下の上下の上れ有要して とと判った	があるのずれかり有りのをものなったのものなったものなったものなったものなった。	n 又 は 別 の お)
状の程度 大・中・小の	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・ 地上下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 嫌壁の折損い はらんでい	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれないるが曲	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障が 未満。 5 mm未 5 mm未 5 mm未 の開き 小規格 がクリー の何を クラック いっこっか。	にしい 満の間 大満があいき 抜的所解 り しい があり があり があり があり があり があり があり があり があり。 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	クリート: 対間(変化 目地上 3。 ラミなる) 地整の場 にわずか	系権壁があずいの対合に大きないにあるかい場合がある。	きる。 **れ又は はけ(積イ 底直以下 度をな ファクを	12 mm は目地 「が1」 「のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	コンパ 5 mm 5 れ 宅円 擁 ロン 以 クラ	リート系 ~ 50 目 盤べ前ト傾を、見 がりの子が見がしている。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではいる。 のではない。 のではない。 のでは、 のでは、 。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 。	操壁の は未満の にテンショーの は、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	の目地があったれ対合 いたがあった。 いたがあり、 いずありり	変位がの上下の上である。	ぶある 下のず し上。 50 mm よりコン 壁の	(コン/) 50 mm 11	リート系 の以上の のが地域が前の と のが に り が て し 系 に り に り に の に り に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に 。 に 。 に に る に に に に に に に に に に に に に	の目地であり、 こテンションのおそれである。 こである。 こである。 である。 こである。 こである。	変位がの上下の上下の上下の上れた。 とりっとり、 1 回	があるのずれかいからいったり のものものかったものかったもの	n 又 は 別 の お)
状の程度 大・中・小の概	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・左右 ルラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 嫌壁の折損・ななめひ	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれないるが曲	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障が 未満。 5 mm未 5 mm未 5 mm未 の開き 小規格 がクリー の何を クラック いっこっか。	にしい 満の間 大満があいき 抜的所解 り しい があり があり があり があり があり があり があり があり があり。 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	クリート 開間(変 同地上 る。 ラミ及ら) 地整の場	系権壁があずいの対合に大きないにあるかい場合がある。	きる。 **れ又は はけ(積イ 底直以下 度をな ファクを	12 mm は目地 「が1」 「のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	コンパ 5 mm 5 れ 宅円 擁 ロン 以 クラ	リート系 - 50 mm - 50 mm - 50 mm - 1 地 す が リ の ク り が ラ り が ラ う り か ラ ラ か ク ラ ッ ク り か ク ラ ッ の ク ラ の の ク ラ ッ の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク ラ の の ク タ ラ の の ク タ ラ の の ク タ ラ の の ク タ ラ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の ク タ カ の の の の ク タ カ の の の の の の ク タ カ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	操壁の は未満の にテンショーの は、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	の目地があったれ対合 いたがあった。 いたがあり、 いずありり	変位がの上下る。	ぶある 下のず し上。 50 mm よりコン 壁の	(コン/) 50 mm 11	リート系 の以上の のが地域が前の と のが に り が て し 系 に り に り に の に り に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に 。 に 。 に に る に に に に に に に に に に に に に	の間間の の目地であり こテンショのおその はもの。 である	変位がの上下の上下の上下の上れた。 とりっとり、 1 回	があるのずれかいからいったり のものものかったものかったもの	n 又 は 別 の お)
状の程度 大・中・小の概要	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・ 地上下・左 ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 嫌壁の折損い はらんでい	のずれ) 目地の開き たの開き ・ずれ・ びわれないるが曲	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障為。 5 mm 末 ま 5 mm 規 規 個 か ~ 2 壁 か の 傾 か の に の な か い つ ご か が か こ か ず か し か ず か し か ず か し か ず か し か ず か し か ず か	はしつい 満の際 流があった。 造抜前所雑 り ト系前 り ト系前	クリート: 対間(変化 目地上 3。 ラミなる) 地整の場 にわずか	系擁壁 かがず 下のす が 対合:天 所 が は 乗り かん し ま が は かん は かん な い な の な の い な の の の の の の の の の の の の	きの場合 5る。 *れ又は はけ(積イ ・直以下 ・度をな ・ラックを)	12 mm は目地 「が1」 「のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	(コン)満面 5 れ 宅円擁(コ以 クラン)場 い り り り り り り り り り り り り り り り り り り	リート系 - 50 mm 地 がリのクりがラックのクリングラックの 1地 にり面系糸環境 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	操壁の は未満の にテンショーの は、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	の目地が いクタ無こ対合 に対合 にりかあった。 いあった。	変位がの上下の上では重要を表す。	ぶある 下のず し上。 50 mm よりコン 壁の	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リート系 以上の のが地すがて し系いり はい してが ない という はい にいり にいり にいり にいり にいり にいり にいり にい	の目地であり、 こテンションのおそれである。 こである。 こである。 である。 こである。 こである。	変位がの上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の	があるのずがいか、かったりでもものかっでも	n 又 は 別 の お)
状の程度 大・中・小の概	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横 の クラ 7 8	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ 地上下・左ィ ハラミ ンションクラック 傾斜・倒壊 ・ななめひで、 はらんで、 がして、 がより、 はらないで、 がして、 がより、 はいかで、 がした。 はいかで、 はいかで、 はいかで、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが、 はいが	のずれ) 目地の開き ・ずれ・ ・ずれ・ びわれないるが曲 角に折れ	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線的でなく、	支障為。 5 mm 末 ま 5 mm 規 規 個 か ~ 2 壁 か の 傾 か の に の な か い つ か す か い つ か ず か か こ か ず か か こ か ず か し か ず か し か ず か	にしはない 満の際 に満める。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表がある。 に表した。 に表した。 に表した。 に表した。 に表した。 に表した。 に表した。 に表した。 にまた。	クリート: 別間(変色 目地上 3。 ラミ及び 20 を 1 を 2 を 2 を 2 を 2 を 2 を 2 を 2 を 2 を 2	系擁壁型がある。 下のすりは、対合:下のすりは、対合:下のすりは、対合:下の申抜りに、対し、手がに、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	きの場合 5る。 *れ又は はけ(積イ 直以い 度をな アラックを)	12 mm は目地 「が1」 「のは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	(コン/ 満 5 mm 5 n 又 宅 円 確 宝 ン / 上	リート系 	接嬢壁の ・ 本満のの ・ 本満のの ・ 一本では ・ 一本では ・ できる。 ・ でを。 ・ で で で	の間間の目地あいたればいた。 いたればしたの場合によりがある。 いたればした。 いたないでは、 いたればした。 いたないでは、 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 にたればした。 いたればした。 にたれな。 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは	変位がの上下の上では重要を表す。	ぶある このず し上。 50 mm になコン 壁壁の しして	50 回 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	リート系 以上の のが地すがて し系いり はい してが ない という はい にいり にいり にいり にいり にいり にいり にいり にい	の目地が。 こテンシミのお名は、 である。 である。 である。 は、してい	変位がの上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の	があるのずがいか、かったりでもものかっでも	n 又 は 別 の お)
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横の クラ 7 8 8	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ たい カラミ シションクラック 倒斜・倒壊 ・ななめびい。 はらんでい が り か り は い り で に に に に い り で に が り が り が り が り が り が り が り に り が り が	のずれ) 目地の問き ・ずれ・ びわれが いるが曲が 板付擁握	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支障湖。	にしになる。 にはの に満の に満の に満かある。 では、 ながまがある。 はな前よ解した。 はな前な解した。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	クリート: 別間(変) 目地上 る。 ラミ及) かきをも盤に は難量の に対する に対す に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し に対し	系権壁がある。 下のすが対合:に有合う。 では、場合のでは、	たの場合	た2 mm 上目地 ご。 に 本法 して に 境に	(コン/ 満 5 mm 5 n 又 宅 円 確 宝 ン / 上	リート系 ===	接嬢壁の ・ 本満のの ・ 本満のの ・ 一本では ・ 一本では ・ できる。 ・ でを。 ・ で で で	の間間の目地あいたればいた。 いたればしたの場合によりがある。 いたればした。 いたないでは、 いたればした。 いたないでは、 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 いたればした。 にたればした。 いたればした。 にたれな。 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは、 にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは にたれは	変位がの上下の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、	ぶある このず し上。 50 mm になコン 壁壁の しして	50 回 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	リート系 以上ののが地すがて し系いり を果た を果た	の目地が。 こテンシミのお名は、 である。 である。 である。 は、してい	変位がの上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の上下の	があるのずがいか、かったりでもものかっでも	n 又 は 別 の お)
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横ののラフ 7 8 8 9	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・左ィ ハラミ シションクラック 傾斜・倒壊 ・ななめひで、 はらんで、 前壊 張り出し床 基礎及び基	のずれ) 目地の問 もの開き ・ずれ・ びわれた めいるがれれ 板付練 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支障為。 5 mm 末き 5 mm 規 個	にし口ン 満の際に満かある。 流がある。 はな前外が 地域が に対するが では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	クリート: 別間(変) 目地上 る。 ラミ及) かきち 盤 とい 解類 しいがっ こうこう アトマクラ	系権壁がある。 下のすが対合: に角合 の、場合 の、である。 でのがが	るる。 おれ又は おけ(積ん なけ)では である。 である。 では なけでである。 では ないは では である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	r 2 mm は目地 が 1 こ。は満 ししてに	(コン/満mm) 5 nm 1mg	リ) ~ 50 回 電子	未満の ホース	の関制(の目地あり) かいたい かいかい かいかい かいかい かいかい かいがい かいがい かいがい	変のるかりし垂: 角 トに いれて かれて ないない かんしょう かんしょう かんている かんている かんている かんている かんている かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	ぶある にのず し上。 50 mm しコンの て 筋が	ロン// 50 mm	リート系 発し 山川 川川	の間間(の) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	変位がの上下では、1000年の上では、1000年の上では、1000年の上では、1000年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	がある かって かい 転付 かっかん で もの かっかん ものか をものか で も ものか で も ものか で も も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横ののラフ 7 8 8 9	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・ たい カラミ シションクラック 倒斜・倒壊 ・ななめびい。 はらんでい が り か り は い り で に に に に い り で に が り が り が り が り が り が り が り に り が り が	のずれ) 目地の問 もの開き ・ずれ・ びわれた めいるがれれ 板付練 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	中抜け) 中抜け) いら起きるも 線約でなく、 いている) 達の支柱の損	支険満。未 末 ま 5 mm 規 規 個 か ~ 2 を が か か で か で か で か で か で か で か で か で か で	にしい 版書が 成を 成本が の の の の の の の の の	クリート: (変) 目も。 及る) に場 がっている といい かいっと かいっと かいっと アンドン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	系擁壁型がある。 下のずが中抜し手だの中抜いものである。 でいるが、大手では、一般では、一般では、 では、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	たの場合	12 mm は目地 「一方が1」 に満れていた。 に対 に に に いる。 又	(コン満 mm	リ) ~ 50 回 電子	未満の ホール 本	の関制(の目地あり) かいたい かいかい かいかい かいかい かいかい かいがい かいがい かいがい	変位がの上下の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、一点の上では、	ぶある にのず し上。 50 mm しコンの て 筋が	ロン/ 50 mm	リート系 経 以上の は 以上の が地すがて し 下であ をの 孔の ない 大 経 ない ない 大 経 い ない な	の目地が。 こテンシミのお名は、 である。 である。 である。 は、してい	変位がの上下滑野の大きれ有して とり という	がある かって かい 転付 かっかん で もの かっかん ものか をものか で も ものか で も ものか で も も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横 の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・左。 ルラミンションクラック 傾斜・倒壊 ・ななめひでも はらんでも がある。 はらんでも がある。 はらんでも がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。	のずれ) 目地の明言 ・ずれ・ ・ずれ・ びわれれか曲 がいるが曲 板付揮!	・ 中抜け) ・ ら起きるも 線的でなく、 している) ・ をの支柱の根 ・ 砂被害	支末端 5 mm 未 5 mm 規模 mm 未 き が mm 用 規模 mm + で 2 m	にしていて、 にはの際に にはがある。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。	クリート:変別 目も。 ラミち也整 これ 蜂類 ことが 下です 油製	系擁壁があます。 では、 対 は で が は は で が は し 手 に 角 と か に 場 合 る 。 で る で の が を 検 に が が を 板 に が か と が と が と が と が と が と が と が と が と が	その場合 ある。 「れ又は はけ(様な 以い になった になった になった になった になった になった になった になった	12 mm は目地 「一方が1」 に満れていた。 に対 に に に いる。 又	(コン満 mm	リ) ~ ~ は 地すがリのクりがク。部のて 加 にり	未満の ホール 本	の関制(の目地あり) かいたい かいかい かいかい かいかい かいかい かいがい かいがい かいがい	変のるかりし垂: 角 トに いれて かれて ないない かんしょう かんしょう かんている かんている かんている かんている かんている かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	ぶある にのず し上。 50 mm しコンの て 筋が	ロン/ 50 mm	リート系 経 以上の は 以上の が地すがて し 下であ をの 孔の ない 大 経 ない ない 大 経 い ない な	の間間(の) の の の の の の の の の の の の の の の の の の	変位がの上下滑野の大きれ有して とり という	がある かって かい 転付 かっかん で もの かっかん ものか をものか で も ものか で も ものか で も も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横 の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・左ィ ハラミ シションクラック 傾斜・倒壊 ・ななめひで、 はらんで、 前壊 張り出し床 基礎及び基	のずれ) 目地の明言 ・ずれ・ ・ずれ・ びわれれか曲 がいるが曲 板付揮!	・ 中抜け) ・ ら起きるも 線的でなく、 している) ・ をの支柱の根 ・ 砂被害	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・変し、 ままない は は は は は は は は は は は ままない ままない まま	系擁地があず 中山 し天 一角 合。 てる かれれていた がれていた がれていた かれていた かんれいしてい	での場合 かる。 れ又は け(種様 以) m を かっ を しが あっ か る。	t目地 に可能 には には には には には には には には には には	(コン満 mm	リ) ~ ~ は 地すがリのクりがク。部のて 加 にり	未満の ホール 本	隙間 地あ シャルカラ かぶあつ かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいか	変のる。 かし垂: 角裏外傾 る。 かん 中し 山 中 で と りん いれ マ は いれ マ は 日 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	はある にのず に上。 50 mm しンの で しないの で しか が が か か か り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り	コン/ 50 mm 地れ地弧壁っ 見ーしが 機栓 水 機能	リート系 紀 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川	の目地が、からいます。 ここの 日本が、 ここの 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 早は ここで はい 日本の	変位かり、 いクラッキれて	がある かって かい 転付 かっかん で もの かっかん ものか をものか で も ものか で も ものか で も も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横 の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後の 不同沈下・左。 ルラミンションクラック 傾斜・倒壊 ・ななめひでも はらんでも がある。 はらんでも がある。 はらんでも がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。	のずれ) 目地の明言 ・ずれ・ ・ずれ・ びわれれか曲 がいるが曲 板付揮!	・ 中抜け) ・ ら起きるも 線的でなく、 している) ・ をの支柱の根 ・ 砂被害	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしていて、 にはの際に にはがある。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはがいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。	クリート・変し、 ままない は は は は は は は は は は は ままない ままない まま	系擁地があず 中山 し天 一角 合。 てる かれれていた がれていた がれていた かれていた かんれいしてい	その場合 ある。 「れ又は はけ(様な 以い になった になった になった になった になった になった になった になった	t目地 に可能 には には には には には には には には には には	(コン満 mm	リ) ~ ~ は 地すがリのクりがク。部のて 加 にり	未満の ホール 本	隙間 地あ シャルカラ かぶあつ かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいか	変のる。 かし垂: 角裏外傾 る。 かん 中し 山 中 で と りん いれ マ は いれ マ は 日 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	はある にのず に上。 50 mm しンの で しないの で しか が が か か か り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り れ り	ロン/ 50 mm	リート系 紀 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川	の目地が、からいます。 ここの 日本が、 ここの 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 早は ここで はい 日本の	変位かり、 いクラッキれて	がある かって かい 転付 かっかん で もの かっかん ものか をものか で も ものか で も ものか で も も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横 の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・たっ ルランクラック 一個斜・倒壊 練壁の折めひで、 はらんに鈍 飛り出し床 基礎及び基 排水施設の 練壁背面の	のずれ) 同地の引き ・ずれ・ ・ずれ・ びわれれ曲 板付練 板付練 の変状	・ 中抜け ・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・変し、 ままない は は は は は は は は は ままない ままない ままない ま	系 遊 下 び 対合 い 場い 骨で ツケ (本) が 根に か は 一 で り か (本) が 根に い で アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での場合 かる。 れ又は け(種様 以) m を かっ を しが あっ か る。	t目地 に可能 には には には には には には には には には には	(コン満 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リ) ~ ~ は 地すがリのクりがク。部のて 加 にり	接線壁の	隙間 単あ タ無対合 にりり方 てが マキモンリ かぶあコン前 ですが マケー 被	変の上下のというというでは、一次の上では、一次のよりには、一次の上では、一次の上では、一次の上では、一次の上では、一次の上では、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次には、一次に	は上。	コン/ 50 mm 地れ地弧壁っ 見ーしが 機栓 水 機能	リート ・	の目地が、からいます。 ここの 日本が、 ここの 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 早は ここで はい 日本の	変位かり、 いクラッキれて	がある かって かい 転付 かっかん で もの かっかん ものか をものか で も ものか で も ものか で も も ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説明	2 (伸 3 (目 4 (デ: 5 6 (横の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・左ィ 地上下・左ィ ルラションクラック 倒斜・倒壊 嫌壁の折めひで、 はらんで、 が、 ならんで、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 は、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	のずれ) 同地の引きたい できない かっぱん かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいま	中抜け) 中抜け) いら起きるも、線的でなく、 いている) 売の支柱の根 一被害	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・ 変し 上。	系 遊 下 び 対合 い 場い 骨で ツケ (本) が 根に か は 一 で り か (本) が 根に い で アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での場合 かる。 れ又は け(種様 以) m を かっ を しが あっ か る。	t目地 に可能 には には には には には には には には には には	(コノ満 mm ス	リ) ~ 50 世 地すがリのクりがう) 部のて 加湧 被トー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	を接撃の かっぱい はいかい かっぱい はいかい かっぱい はいかい かっぱん はい はいかい かっぱん はい	隙間 地あったれがした。 からながらない。 からない。 のっと。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の	変のという。無し、少し垂: 角まった いれれ 又は 害 点(防	にある (上。 ない はい ない はい ない はい ない はい ない はい かい はい	ロン/ 50 mm 地名地 20 mm 地名 2	リート 上の 一以	の隙間形(の) にからい できない できない できない ししています りい いっこう いっこう いっこう はい できない しん はい いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこ	変化が、シャラッ有で 判ったい ない。 破る。	ぶある のずれ 転転 かりり その相 あもの かり でも り で あり があり	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説明	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・ 地上下・左右 地上下・左右 ルラミンションクラック 傾斜・例線 練壁のか折損の はらんで鈍 がよいで鈍 がよいで純 がよいで が が を ないで が は が を ない が を ない が を 、 を 、 を 、 を 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、	のずれ) 同世の 同当 で が か か れ か 付	・ 中抜け ・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・ 変し 上。	系 遊 下 び 対合 い 場い 骨で ツケ (本) が 根に か は 一 で り か (本) が 根に い で アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での場合 かる。 れ又は け(種様 リリー に 直 を ク ク を う) い。 生がカクカカ	t目地 に可能 には には には には には には には には には には	(コノ満 mm x に mx x が mm x に mx x が mm x に mx x が mx x に mx x が mx x x を 見 を ら	リ) ~ 50 1 地 すがりの 50 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	集擁壁の	限制 世あ シャス 大	変の上下の上で、 のような かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしょう しょう かんしょう おんしょう はいれい はいれい はい	によって (上) (は)	ロン 50 mm 地 れ地 弧壁っ 見一しが 機 支 水機 と 類 間 当 と 類 面 に	リート 上の 一以	の隙間形(の) にからい できない できない できない ししています りい いっこう いっこう いっこう はい できない しん はい いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう いっこ	変化が、シャラッ有で 判ったい ない。 破る。	ぶある のずれ 転転 かりり その相 あもの かり でも り で あり があり	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説明	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・左ィ 地上下・左ィ ルラションクラック 倒斜・倒壊 嫌壁の折めひで、 はらんで、 が、 ならんで、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 は、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	のずれ) 同世の 同当 で が か か れ か 付	・ 中抜け ・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしていて、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	クリート・ (東) 日も。 ラをも盤整 こわ 離り トランド です 油製 出出 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	系 遊 下 び 対合 い 場い 骨で ツケ (本) が 根に か は 一 で り か (本) が 根に い で アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での場合 かる。 れ又は け(種様 リリー に 直 を ク ク を う) い。 生がカクカカ	r 2 mm は目地 ゴが 1 に 流れたした境に い。以見ら	ロン満面 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リ) ~ 50 1 地 すがりの 50 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	集練壁の	限制 世あ かれ かん	変のようりし垂天 度変み傾斜 る。 郷 に 山 ら端 医皮込 換網 る。 郷 は 目程 防 未 兄 お れて 又 は 目 と	Le.	ロン 50 回 11 150 回 11	リー以 以のが地すがて し系であ をの 孔が 箆 無 よト 上のきるにり何る 大練る後 果剪 高れ 度 し 防	D際間間(した)のでは、 のでは、 のでは、 のででは、 のでできる。 を傾ししている。 でいる。 にできる。 をしている。 でいる。 にできる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にし。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にし。 にしる。 にし。 にし。 にし。 にしる。 にしる。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。	変の人となって、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	おある すれ いかり その ものかも いか あり し)	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説明	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・ 地上下・左右 地上下・左右 ルラミンションクラック 傾斜・例線 練壁のか折損の はらんで鈍 がよいで鈍 がよいで純 がよいで が が を ないで が は が を ない が を ない が を 、 を 、 を 、 を 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、	のずれ) 同世の 同当 で が か か れ か 付	・ 中抜け ・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	として 高の の の の の の の の の	クリート・ (東) 日も。 ラをも盤整 こわ 離り トランド です 油製 出出 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	系 遊 下 び 対合 い 場い 骨で ツケ (本) が 根に か は 一 で り か (本) が 根に い で アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	での場合 かる。 れ又は け(種様 リリー に 直 を ク ク を う) い。 生がカクカカ	t目地 に可能 には には には には には には には には には には	ロン満面 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	リ) ~ 50 1 地 すがりの 50 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7	集練壁の	限制 世あ かれ かん	変のようりし垂天 度変み傾斜 る。 郷 に 山 ら端 医皮込 換網 る。 郷 は 目程 防 未 兄 お れて 又 は 目 と	Le.	ロン 50 mm 地 れ地 弧壁っ 見一しが 機 支 水機 と 類 間 当 と 類 面 に	リー以 以のが地すがて し系であ をの 孔が 箆 無 よト 上のきるにり何る 大練る後 果剪 高れ 度 し 防	D際間間(した)のでは、 のでは、 のでは、 のででは、 のでできる。 を傾ししている。 でいる。 にできる。 をしている。 でいる。 にできる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にし。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にしる。 にし。 にしる。 にし。 にし。 にし。 にしる。 にしる。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。	変の人となって、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	おある すれ いかり その ものかも いか あり し)	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破
状の程度 大・中・小の概要説明	2 (伸 3 (目 4 (デ) 5 6 (横の。 クラ 7 8 8 9 10	水平移動 縮目地前後。 不同沈下・ 地上下・左右 地上下・左右 ルラミンションクラック 傾斜・例線 練壁のか折損の はらんで鈍 がよいで鈍 がよいで純 がよいで が が を ないで が は が を ない が を ない が を 、 を 、 を 、 を 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、 は 、	のずれ) 門目地の門き ・ずれ・・ びわれが曲折 板付 排離 を変状 ・本道管 ・対定値を変ま	・ 中抜け ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支 表 3 mm 未 5 mm 用 き 5 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 6 mm 用 き 7 mm 用	にしつ 順の おっぱ が は が は が が が が が が が が が が が が が が が	クリート・ (東) 日も。 ラをも盤整 こわ 離り トランド です 油製 出出 + + + + + + + + + + + + + + + + + +	系練堂があずず 対合 い 場い 骨でい が 担か してい 着い かが 担か に し し ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	の場合 ある。 「れ又は (権権 の場合 をなった をなった をなった である。 「ないでは である。 「ないでは である。」 「ないでは である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	r 2 mm は目地 ゴが 1 に 流れたした境に い。以見ら	(コノ満 mm 又	リ) ~ ~ は 地すがリーのクリ・ボクラ 。 部のて 加湧 被 被 被 トー・	表練壁の	隙 目あ かかり かあり かかり かかり かかり かかり でが かかり かかり でが マー	変のる。クレ垂天 度楽所領 いれ 又 害 点 点 8.5 き に いれ と と と と と と と と と と と と と と と と と と	Lbo	ロン 50 回 11 150 回 11	リー以 叫のが地すがて しふてあ をの 孔が 色 無 ま し トート 上にきるにり何る 大郷も移 た啊 の夫 険 し 防 て し 防 て	D際間間(1)の では、	変のとれていない。 ないのない とり 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	おある すれ いかり その ものかも いか あり し)	れ又は 別のお) 機能を っ。につン前 的断破

(様式-1)擁壁被害状況調查·危険度判定票

	⇒m•		नार	調査日時	等	年	月	日	時	調査番号			
	調	査	票	地震名又	は降雨災害	害名					-		
	址 中 攻 4	- 担 武		者	8 道 府 県	Ļ		市郡			区	町 村	
	被害発生	: 場 川			地	区 団地			一目	番		号	
	所有者·管理	里者氏名				記入者」	氏名		TEL	:			
	所有者・管 連 絡		TEL:			居住者。説	への 明	口済 口:	未了 口居住者	不在 □	老人独	居住宅	i
写	真・図よ	(1)	<被	災 状	況	図>			応急措員□被災		AND THE RESERVE OF THE PARTY OF		
	1.クラック	2.水平和	多動 3-1.7	下同沈下 3	-2.目地の開	き 4.ハラ	ラミ	5-1.傾 弁	5-2.倒	壊 6.擁壁の)折損	7.崩	壊
	\$\frac{7}{7}\rightarrow \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\												
,	8.張出し床版付擁	壁の支柱の損	傷 9.基礎及	び基礎地盤の	被害 10.排	水施設の変物	犬		建物	道路との位	置関係	(基礎)	点)
	※簡易記録を	をする場	合は、被災	と状況図は	省略するご	とができ			- 影響範囲外	(B) 影響範囲	(A)	影響範囲ダ	54 (B)
								被害が無いこ	とが確認	できる全景学	写真を:	撮影する	る。





7	-					小			V.O			<u> </u>			V.·1		_	大		
区分	τ	質目	マンカル	練積		2段	張出	空積	コンクリ	約	増積	W	張出	空積	マンカル	練積		2段	建山	空積
<i>y</i>	_	クラック	1	2	增慎	4	5	至慎	2.5	3.5	4	5	7	至慎	4	探惧	6	7	8	至慎
		水平移動	2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
变		不同沈下・目地の開き	3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9	'	6	7	8	9	10	,
犬		ハラミ	7	4.5	5	6	8	8	1.0	6	7	8	9	9	P	8	9	10	10	10
多		傾斜・倒壊	5	5.5	6	7	8	0	7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	10
ట		擁壁の折損	6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
上发犬	7			9	9	10	10	8	<u> </u>	10	10	10	10	9	·	10	10	10	10	10
12	-			9	9	10	7	•		10	10	10	9	7		10	10	10	10	10
	9						- 1				10)	9						10	
į		を				3			Ι			5						7		
		1 擁壁背面の水道管等破裂				9			<u> </u>		10						- 18	1		
-	1	項目/程度				小						þ					_	大		
	1	クラック(幅)	9 mm=	上港の		はある	が、操給	k LO	9mm	~20 mi					20 mn	以上				
	1	ノノノノ(中田)	100			ト系擁護			0.000		探壁の)提合	2mm~	-5 mm			大海路辛 <i>(</i>)	D提合	5 mm以	L)
			未満		• / /	レンド3 9 世当	E V Jam :		未満		が正土。		2111III	O HIIII	(27)	7 17	NITE ELV		o mine	/
	9	水平移動			隙間(変	で位)がる	ある。				未満の	隙間	亦付)カ	ある	50 mn	DJ Fa)隙間(変付)カ	ある	
		伸縮目地前後のずれ)		11- 4- >			J J				1 died 2	.~4==4(3	1	-		,	124114()	~,,,,		
E	,	不同沈下・目地の開き	5 mm	未満の	目地上	下のす	ドれ又に	は目地	5 mm	~50 m	m未満o	の目地	の上下	うのず	-50 m	m以上d	の目地	の上下	のずれ	又は
K		目地上下・左右の開き)		きがあ			100 15 120				の開き			(か、 転径	
)																が有る				
呈	4	ハラミ	小規	模のハ	ラミア	なび中技	対(積	石が1	宅地	地盤に	テンショ	ンクラッ	ク無し	55	宅地	地盤に	テンショ	コンクラッ	ク有り	
Į	(テンションクラック・ずれ・中抜け)			落ちる						のおそ				円弧	すべり	のおそ	とれ有り	ŋ	
t	5	傾斜・倒壊	擁壁	が前面	地盤に	二対し国	E直以	下。(コ	擁壁	が前面	地盤に	対し重	庭直以	上。(コ	擁壁	が前傾	[•倒壊	してそ	の機能	を失
			ンクリ	一个系统	壁の場	場合:ラ	天端 50	mm未	ンクリー	小系辨	壁の場	計:	天端 50	mm以	って	いるも	の 。			
þ				傾斜	10.5%				上の	,		alliar III								
		擁壁の 折損			にわす	かに角	度をな	よして			に明ら								340	
1		横・ななめひびわれから起きるも	いる	100							け石が								ックを境	
0		り。はらんでいるが曲線的でなく、				り場合		と境に	7775		る。(コ)				200000000000000000000000000000000000000				っでも真	那破
旡	1	ラックを境に鈍角に折れている)	わす	かに前	傾して	いる。)				境に前	可方に	頃斜し	てい	壊が	あり後	傾して	いる。	,)	
更兑	_	шњ		ter to 1	> 1 >	èva -			3。)		1 -1		. 7		ملك فاقدا	у ш ъ	1			
	7	744				滑って					して滑			Anha I N			してい	ない。	Q	
月		張り出し床板付擁壁の支柱の損	支柱	にひひ	か人つ	ている	٥.				カリートカ	いばか	れて釣	語か	支柱	の剪脚	r破壞。			
	X:	ラード サファンド サフト 山 中で カー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディー・ディ	1.40	年子ご	, T & L	=h.18	410-	1 . 7	兄え	ている	0									
	9	Thirty to Thire than a live				ラックが			4,-	bn & M	は日本へ	5二…上	712	Lul. 2.	ما ما ما	71 00 31	tot n	701-14.2	it h	41-4-4
	1	0 排水施設の変状				い、欠損 装面に			100000000000000000000000000000000000000		壁のク	フック	人は日	ルピルン	2 25 5 6 7		まり、 かれてい		ぶあり、	排水
			れる		山、部	大田八二	17776	一元り	90)	勇水が	(A) (D)				15支用它	11大4	1466	·0°		
	1	1 擁壁背面の水道管等破裂			が流り	けしてい	17	-	6						N/					
	1	17年1月田7/小足日寸収衣	以衣	基礎	The state of the s		変状点	i	1			小姓	生担 R	生の占	数と危	分路由	判定、	<u>ئے</u>		
			Г	45000	222			× -		200 0.00		1.00					TIME	~		
		被害の判定値		1.0		+	6.0		無	被害	:	у (点(防	災上	問題無	無し)				
>	《基	礎点に変状点の最大値を加えた点数	L						1/1/2	被害	: 1	~ 4.5	点未	満(当	当面に	t 防災	上問	顯無	L)	
*	無	被害の場合は基礎・被害点の記載無し			_					-			-3-0-0-10							
					= [7	.0	点	甲	恢 善	. 4.5	点~	8.0 点	未清	1					
							****			- 100	(制	限付	き立	入、 i	進行し	TV	れは	ご避難	<u>:</u>)	
		危険度判定	ロナ	ל ו	中		小	□無	大	被害	2017-000	Market St.			避難					
	戸	信息入者の意見 緊急度	ロナ	τ	L	中	1	小	•		(人品	・財抗	産・交	通の3	点を判	定基準	色とする	5.)
*		被害の場合は記載無し拡大の見込		2		無		判断不	म		1	備老	23,020,03	_ ~)
	m	1/4/(1/5년)		1		7117		L.Ital.	1		(川子	, .							/

(様式-1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

1187-7	1/4/4.	EIAH	VIVOR9 E					u.t. m			
調	查	票	調査日時			Ħ	H	時課	查番号		_
			地震名又は	道府県		市	HK NH		1	区町 村	-
被害発生	生場所		TIP .	Cardina	区 団地	η ,	丁	1	番	号	_
所有者・管	理者氏名				記入者氏	8		TEL:			\neg
所有者・智					居住者へ	の 口済	口未	7			
連 絡	先	TEL:			脱山	明		□居住者不	在 口老	人独居住宅	
		<被	災状	況	図>			応急措置 □被災無	□済 □未 □簡易記録	TOTAL STREET	
1.クラック	2. 水平	移動 3-1.2	不同沈下 3	・日地の門	き 4.ハラ	ミ 5-1.傾	斜	5-2.倒 壊	6.擁壁の折	損 7.崩	壊
77 8 33						- Common of the				0220	
8.張出し床版付据	壁の支柱の排	傷 9.基礎及	び基礎地盤の被	書 10.排水	、施設の変状				路上の位置性	関係(基礎点	į)
		1						影響範囲外(8)	=	影響範囲外	(B)
The second secon			災状況図は省 5 判定結果を				L	レが確認で	・17H。 キスク男写真	た掲影する	5
72.72.03 pol	且,闽/川 //	111100	THAMA	II. CABIA	T. ACBUMA C	X EX ET AT THE		- Wallette C	この王州子兵	- C 14K 45 9 - 0	0.0
目地開き W=10cm 3 畑 地盤下がり	日地開 (5) (6)	浄化槽	2	日地	1.0m 0.2m 2.0m 2.0m 畑 現場打し型 開きW=2cm エンス	1.5m		建物	2. Om	フェン (1.) (1.	Om 2m 5m
(%===		Ĺ	1	道路							
		[4	面図]					[断面図]			
被災写真。	の有無	□無	□有→写]	真番号[14-(1	~3]
特記事	項		手が著しく、 主意が必要						と制限する	など	

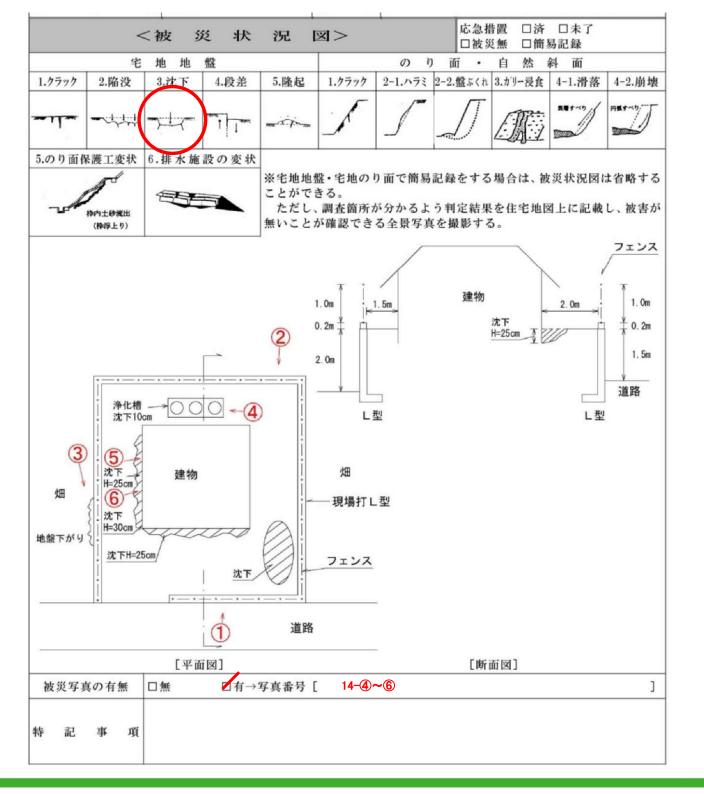
推						コくず	ャスト Jートブロ れ石積		山影	□ 増積 □ 二段 □ 張出 擦壁の 擦壁の	擁壁 し床版 設置条 勾配	付擁!		# 4 	増額部分 練壁部分 全練壁高 m 増設点 上部 下部 上部高 m;下部高 □その他 □切士・盛士境 □軟羽地盤上 □ 度 又は (1 : □影響範囲に練物または道路がないB) 0 0.2 0.4						本礎 () ・() ・() ・() ・() ・() ・() ・()		
礎	2	非水施設		有、天端は表 無、あっても						より	0.4)					0.2				10	7	
点	3)i	高さ	3m <i 4m<i< td=""><td>I≦3m I≦4m I≦5m</td><td colspan="4">380 14071983</td><td></td><td colspan="4">0.2 0.4 0.6</td><td></td><td></td><td></td><td>0 0.1 0.2 0.3</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>_</td><td></td></i<></i 	I≦3m I≦4m I≦5m	380 14071983					0.2 0.4 0.6							0 0.1 0.2 0.3				1.0	_	
12,	-		5m <i< td=""><td>程度</td><td></td><td></td><td>-</td><td>小</td><td></td><td></td><td>0.8</td><td></td><td>-</td><td>p L</td><td></td><td></td><td>0.4</td><td></td><td>-</td><td>t.</td><td></td><td></td><td>-</td></i<>	程度			-	小			0.8		-	p L			0.4		-	t.			-
区分	項			」程度 擁壁種類	コンクリ	練積		2段	張出	空積	コンクリ	練積		2段	張出	空積	コンクリ	練積	増積		張出	空積	
変状形態	2 3 4	クラック 水平移動 不同沈下・ ハラミ 傾斜・倒壊	目地の閉	得き	1 2 3 5	2 2.5 3.5 4.5 5.5	3 3.5 4 5 6	4 4 5 6 7	5 6 7 8	6	2.5 3.5 4.5	3.5 4 5 6 8	4 4.5 6 7 8	5 5 7 8 9	7 7 9 9	7 9	4 5 6	5 5.5 7 8 9	6 6 8 9	7 7 9 10 10	8 9 10 10	9 10	A A
思と		擁壁の折損			6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	\	
と変状		崩壊 張り出し床板	付摘業の	支柱の指傷		9	9	10	10 7	8	$\overline{}$	10	10	10	10	9		10	10	10	10	10	+
点	9	基礎及び基	礎地盤0										1								10		^
	10 11	排水施設の		笔				3					10	5 0						7			4
		項	3/程度					小					r	þ					7	K			1
		クラック(幅	0		2 mm未満のクラックはあるが、機能 支障なし(コンクリート系擁壁の場合 未満)。						2mm~20 mm未満 (コンクリート系練壁の場合 2mm~5 mm 未満						(コンク		擦壁の			E)	
		水平移動 縮目地前後の	りずれ)		5 mm	未満の	隙間(変	変位がある。 5 mm~50 mm未満の隙間(変位)がある 50 mm以上の隙間(変位)か	ある								
変状の	3	不同沈下・地上下・左右	目地の得		5 mm未満の目地上下のずれ又 の開きがある。					は目地 5 mm~50 mm未満の目地の れ又は目地の開きがある。				ある。 目地の開きがあり それが有る。									
程度		ハラミ	مذعف	H+H-)-1\					抜け(積	代積石が1 宅地地盤にテンションク					クラック無し 宅地地盤にテンショ								
大・		ンションクラック 傾斜・倒壊	• 3 71.	中级(7)	擁壁 ンクリ・	が前面 小系術		対し重		下。(コ 擁壁が前面地盤に対 0 mm未 ングリート系擁壁の場合				対し重	し垂直以上。ロ 擁壁が前側				9弧すべりのおそれ有り 雑葉が前傾・倒壊してその機能を失 っているもの。				
中・		擁壁の折損			クラッ		にわす	かに角	度をな	よして	上の傾斜 クラックを境に明らか								である				
小の概	0		るが曲	いら起きるも 線的でなく、 れている)		フリート系	「嬢屋の		ウラックを)	党境に	リートフ	が見え ラックを	る。(コ:	あり、 ンクリート 付方に	系擁担	壁の場	傾し	ている	壁の場。又は を傾して	t, 1 mm	でも		
要説明		崩壊 張り出し床	板付擁護	きの支柱の損			ら上が入っ		ている。 る。		基礎 支柱	部を残	クリートだ	引ってい がはが		失筋が	-	を果たの剪修	:してV 破壊。	ない。			
9 基礎及び基礎地盤の被害 大規模 10 排水施設の変状 天端排							にずれ	し、欠担	がある	5。又	左に	加え抜	権壁の	クラック	又は目	担か			まり、		あり、	排水	
は、天 れる。						0			a shake o	一見り	50)	湧水が	める。				校姐它	か失れ	れてい	い る。			_
11 擁壁背面の水道管等破裂						基礎	が流出 点		変状点	į į				☆被	善程	度の点	数と危	5険度	判定	Į.			-
被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数						1.0		+	6.0			被害被害				災上			上問	題無	U)		
※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し							= [7	.0	点	点 中被害: 4.5 点~8.5 点未满												
		危険周	度判定		לם	t 1	<u>—</u>		ψ I	□無	(制限付き立入、進行していれば避難) 大被害:8.5 点~(危険、要避難、立入禁止)												
		記入者の意		緊急度	ロナ			中	- 0.0	小			(人命	す・財	産・交					5.)	1
*	無被	害の場合は記	IX:	拡大の見込		1		無		判断不	п		(備者	; ;)	L

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

		-m t ut.				ur.	1 1	• 1	
調査	票	調査日時	1	年月	日	時	調査番号	寸	
10/10 1 1 1 1	环		は降雨災	手名					
被害発生場	rife .	都 道	府 県		市郡			区町	村
IX H 76 ± 400	///			地区 団地		11目		番	号
所有者・管理者氏	名			記入者氏名			TEL:		
所有者・管理者				居住者への	□済	□未了			
連絡	先 TEL:			説明		□居住	:者不在	□老人独	居住宅
<	<被 災	泛状	況	図>		応急拮		□未了	
			1,72			_	災無 □簡		
宅		盤			0 V		T	斜面	
1.クラック 2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3.カリー浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
	74		mi Am			$\int \int$		## + ~ » /	円盤すべり
5.のり面保護工変状	6.排水施	恐の亦事					- 0		
5.079 囲体改工変払	0・1升 小 旭	政の変化	※字抽曲	盤・宅地のり	面で簡見	記録をする	退合け 知	: 医甲烷 44 ※	ナ冶映する
	49		ことがで		н Сні	HENNE 9 G	1-00 E (0.4 E)	COCOLIDATE	& H MI 7 .⊘
枠内土砂流出				、調査箇所か	ジ分かるよ	う判定結果	とを住宅地図	図上に記載	し、被害が
(枠浮上り)			無いこと	が確認できる	る全景写真	兵を撮影する	3.		
	Fore	: Issal T				Γ Mor*			
	[平面	凶]		□ for			面図]		
被災写真の有無		[□無	□有一	·写真番号]	
		L							
44 = 4 -									
特 記 事 項									

				のり面・自然紀	料面の	基礎的条件							
地種	\$	岩		硬岩 □不明	-	バーハング	□無 □4						
		土 砂		質土□粘性土□不明	.,,,,,	k施設			肩、小段排水)				
) 面高	MEHRING (A.)	最大高	m(平均高 m)	のり)面保護工	□無□植生土□構造物						
	うのり面は扱	唯坚尚含)	(うち擁壁高	m)	擁具	き配置	□のり面の上部 □のり面の中部						
_)面勾配)長さ			度 	会 E	きのお狐	口のり面の下部 口全面						
0)) KG			変 状 形 態		家屋の有無 上部 □有 □無 : 下部 □有 □無 と 配 点 表							
	6448年26s	EΩ= S = N	力 (2に 粉ent)	多	٢		中		+				
		態のチェッ	ク(複数円)	,		3~15cm 未注		<u> </u>					
宅		ラック(幅)		3 cm未満	1	複数 3			15cm 以上又は全面	5			
地		殳(深さ)		20 cm未満	2	20~50 cm未		4	50 cm以上	6			
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm未満	2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7			
盤	4 段差	É(段差量)		20 cm未満	3	20~50 cm未	:満	5	50 cm以上	8			
	5 隆起	记(隆起量)		20 cm未満	7	20~50 cm未	:満	8	50 cm以上	9			
	6 湧z	k、噴砂		□無 □有→+ 1 点(上	の点数	枚に1点加え	る)						
	変形状態	生のチェッ	ク(複数可)	小			中		大				
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3			
	2 ハラ	ミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未	:満	4	30 cm以上	5			
	3 ガリ	一浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の に陥没る している がる の。	など放置 被害が広	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8			
の り	4 滑落	・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表をな状たものない。ないないないである。ながである。ながである。ないでのである。ないである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	れたよう とると されのり 面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9			
面 • 自		面保護工 <i>0</i> 生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥した。 フリートンシックリートンションクリートンションが デックが見ずれるが 呼付工の対すれは認め られない程度。	7	例えば、の 分的なひり クラックラック 没・ずれが れる。	。又はコ 吹付工の 部分で陥	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリートで露出し、コス金網がト吹付出のコンクリーが露出し、コンクリーが見が見受けられる。	9			
然斜云	6 排水	施設の変制	¢	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、 クラック、 からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が 失われている。	7			
面	7 のり	面内の水道管	音等の破裂	破裂して水が流出して	いる。	,		•		8			
	8 湧水	、落石・車	話石	□無 □有→+1 点(上(の点数	に1点加える	3)						
被害の判定値 ※基準点に変換点の最大値を加えた点数 ※無転者の場合は基準・被害点の記検無し					点		0 点(坊災上	数と危険度判定☆ 問題無し) 防災上問題無し)				
		危険度半	川定	口大 口中 口小	□無			点(制限付き立入。進行していれば避難) 点(危険、要避難、立入禁止)					
	所見記	(者の意見)	緊急度	口大 口中 口/	l/	(人命	財産・多	を通の	3 点を判断基準とする。)			
	※無被害の場	給は脱無し	拡大の見込	□有 □無 □	判断不	可 (備考	:)			





	のり面・自然斜面の基礎的条件															
地拉		岩	□軟岩	□ 7	□硬岩 □不明			オー	オーバーハング 口無 口							
715.5	int	土 砂	□砂質	土口礫如	質土□粘性土□不明			排刀	k施設	□無	☑有(の	り肩	、小段排水)		
0	り面高		最大高		m(平均语	m(平均高 m)			面保護工	□無 □植生土 □構造物						
(複合	合のり面は	雍壁高含)	(うち擁	壁高	m)			技施 居	き配置	□0 V	面の上部	R	□のり頂	面の中部	R	
の	のり面勾配					度			E 日L JE.	□のり面の下部 □全面						
の	のり長さ					m 家			昆の有無	上部	□有□	無	: 下部	□有	□無	The same of the sa
	写真	真・図よ		変状形態と西				配点	表							
	変形状態のチェック(複数可)				小					中				大		
宅	1 ク [・]	ラック(幅)			3 cm未満			1	3~15cm 未 複数	満又は	3	1	15cm 以上)	又は全	面	5
地	2 陥	役(深さ)			20 cm 未济	歬		2	2 20~50 cm未満			50 cm以上				6
地	3 沈	下(沈下量)			10 cm 未济	歬		2	10~25 cm未	:満 4			25 cm以上			(
盤	4 段	差(段差量)			20 cm未济	歬		3	20~50 cm未	:満 5		15	50 cm以上			8
.1111.	5 隆起	包(隆起量)			20 cm 未济	歬		7	20~50 cm未	満	8	5	50 cm以上			9
	6 湧	水、噴砂			☑無□]有→+	1点(上	の点数	枚に1点加え	る)						

	1 クラック(幅)		3 cm未満又は単数	1	3~15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3		
	2 ハラミ(隆起量)		10 cm未満	3	10~30 cm未満	4	30 cm以上	5		
	3 ガリー浸食		クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8		
の り	4 滑落・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのあ るもの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9		
面・自	5 のり面保護工の (植生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコン クリート吹付工にわ ずかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずれは認め られない程度。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥没・ずれが見受けられる。	8	例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリート吹付工のラス金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる。	9		
然斜面	6 排水施設の変制	÷	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7		
THTI	7 のり面内の水道管	 等等の破裂	破裂して水が流出している。							
	8 湧水、落石・軌	石	□無 □有→+1 点(上の	の点数	に1点加える)					
	被害の判決 ※ 場 を は を は を は ま が ま が ま が ま が ま が ま が ま か ま か ま か ま か	直を加えた点数	7	点	1	货災上				
	危険度半	川定	口大 1分 口小	□無	中被害: 4 ~ 7 点(制 大被害: 8 ~10 点(f		き立入。進行していれば避難 要避難、立入禁止)	雅)		
	所見記入者の意見	緊急度	☑大 □中 □/	/	(人命・財産・交	通の	3点を判断基準とする。)		
	※無被害の場合は記載無し	拡大の見込	☑有 □無 □≒	判断不	可 (備考:)		

(様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票 調査日時 時 調査番号 查 地震名又は降雨災害名 都道府県 市郡 区町村 被害発生場所 地区 団地 丁目 番 号 所有者・管理者氏名 記入者氏名 TEL: 所有者・管理者の 居住者への 口済 口未了 先 TEL: □居住者不在 □老人独居住宅 応急措置 口済 口未了 <被 災 状 況 図> □被災無 □簡易記録 宅 地 地 盤 のり面・自然斜面 1.クラック 2. 陥没 3.沈下 4.段差 5.隆起 1.クラック 2-1.ハラミ 2-2.盤ぶくれ 3.カリー浸食 4-1.滑落 4-2.崩壊 -11-5.のり面保護工変状 6.排水施設の変状 ※宅地地盤・宅地のり面で簡易記録をする場合は、被災状況図は省略する ことができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が 枠内土砂流出 無いことが確認できる全景写真を撮影する。 (枠浮上り) フェンス 建物 1.0m 1. Om 2. Om 0. 2m 0.2m H=25cm T 1.5m 2. Om 道路 L型 L型 沈下10cm 3 畑 現場打L型 沈下 H=30cm 地盤下がり 沈下H=25cm フェンス 道路 [平面図] [断面図] 有→写真番号 [14-4)~6 被災写真の有無 □無 沈下の変状が著しいため当該宅地に立ち入る際は、時間・人数を制限 記 するなど十分注意する。 変状が進行していれば避難も必要

	のり面・自然斜面の基礎的条件													
地	鲣	岩			不明		-	バーハング	□無□右	Í				
		土 砂	□砂質土□礫					k施設			肩、小段排水)	- 2		
	り面高 合のり面は数	文献 古 A.1	最大高	m(平均高	ì	m)	01	面保護工	□無 □植生土 □構造物					
56555		作型尚含/	(うち擁壁高	ekt		m)	摊里	善配置	□のり面の上部 □のり面の中部					
100000000000000000000000000000000000000	り面勾配 り長さ			度			¢ε	∄n trime	□のり面の下部 □全面 上部 □有 □無 : 下部 □有 □無					
0)	yrc			変	状 形	態	と							
	変形狀質	似チェッ	ク(複数可)	<u> </u>	小 小	7 ,725	ф				大			
宅	2007	ラック(幅)	7 (129A 3)	3 cm未満			1	3~15cm 未 複数		3	15cm 以上又は全面	5		
地	2 陥治	せ(深さ)		20 cm未満	5		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6		
地	3 沈	下(沈下量)		10 cm 未満	ij		2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7		
盤	4 段差	島(段差量)		20 cm未満	i i		3	20~50 cm未	満	5	50 cm以上	8		
THE.	5 隆起	亚(隆起量)		20 cm未満	đ		7	20~50 cm未	満	8	50 cm以上	9		
	6 湧2	k、噴砂		無 口	有→+ 1	点(上)	の点数	女に1点加え	る)					
	変形状態	泉のチェッ	ク(複数可)		小				中		大	23		
	1 クラ	ック(幅)		3 cm未満	又は単数	t	1	3~15 cm未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3		
	2 ハラ	ミ(隆起量)		10 cm未満	0 cm未満			10~30 cm未満 4			30 cm以上	5		
	3 ガリ	一浸食	クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。			6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 7 がるおそれのあるも の。			洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8			
の り	4 滑落	・崩壊		部分的な表層すべり、又はのり面上部 の小崩壊。			7	表えな状るもがなる。なが、表表では、表示が、表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	れたよう 置すると それの あ はのり 面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9		
面・自		面保護工の 生工は除く		例えば、のり枠の間 詰め陥りとはコン クリート吹付工にわ ずかにデンションク ラックがずれは認め られない程度。			7	例えば、のり枠の部 分的な破損。又はコ ンクリート吹付工の クラック部分で陥 没・ずれが見受けら れる。			例えば、のり枠の浮 上り破点、のり枠のコン クリートでは近の、ス全網が下では、 ス全網が下では、 コンンでは は が は り り り り り り り り の り の り の り の り の り の	9		
然斜立	6 排水	施設の変物	¢.	天場排水 大損があ 端背面、 ラックが	満にずる。又は 舗装面	、天にク	3	左に加え、 クラック、 からの湧水	又は日地	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7		
曲	7 00	面内の水道	管等の破裂	破裂して			いる。					8		
	8 湧水	、落石・軸	层石	口無 口	有→+1	点(上の	点数	に1点加える	5)					
			値を加えた点数 被害点の記載無し		7	7/1	☆被害程度の点数と危険度判定☆ 点 無被害: 0 点(防災上問題無し) 小被害:1~3点(当面は防災上問題無し) 中被害:1~7点(制限付き立入。進行していれば避							
		/四次/文十	17/6		- T L	741,	<i>— ‱</i>	大被害:	8~10点(危険、	要避難、立入禁止)			
		と 各の意見 合け記載無し	緊急度	口人:	口中	口力		V 2007 - 15-2007 MO	1000	逐通の	3点を判断基準とする。)		
	かが成立した	でログロロ教祭	拡大の見込	口有	口無	口半	断不	可 (備考	:)		

・宅地擁壁の定義での判定 7.0点 ⇒判定区分「中」 要注意宅地

・宅地地盤の定義での判定 7.0点 ⇒判定区分「中」 要注意宅地



ご静聴ありがとうございました

公益社団法人 全国宅地擁壁技術協会